

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	01シルバー人材センター運営助成事業	
細事業名	01 シルバ -人材セ-運営助成事業				決算書 P.208
総合計画	計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり			
	(旧計画項目)	22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
23,100千円		23,100千円	0千円	100.0 %	23,100千円
目的	高齢者が長年にわたり培ってきた知識や技能を活かした就業機会の提供とボランティア活動などの社会参加を通じ、健康で生きがいのある生活と福祉の向上を目指す。				
主要な事務・事業の概要	定年退職者等に地域に密着した仕事を提供し、もって高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を図るシルバー人材センター事業を助成した。				
	○シルバー人材センター運営費補助金				21,000千円
	【事業概要】 ・労働者派遣事業、福祉・家事援助サービス事業等				
		平成28年度末	平成27年度末		
	正会員数	815人	758人		
	就業延べ人員	82,919人	80,868人		
	受注件数	5,794件	5,976件		
	契約金額	336,759千円	325,259千円		
	○地域就業機会創出・拡大事業補助金				2,000千円
	生き生き満丹事業：平成28年度～平成30年度				
	延べ就業人員	来客数			
軽食喫茶「がや我家」	768人	2,895人			
アンテナショップ	3,714人	7,282人			
○全国シルバー人材センター協会賛助会員会費				50千円	
○京都府シルバー人材センター連合会賛助会員会費				50千円	
主な財源					
成果・課題	○高齢者の就業機会の確保に加え、高齢者が長年培ってきた知識や経験、技術等が地域社会に活かされるとともに、高齢者本人の生きがいづくりや社会参加の機会確保につながった。 ○元気な高齢者が生活支援の担い手として活躍できるよう、市とシルバー人材センターで引き続き情報共有や連携を進めていく必要がある。				
事業所管課		健康長寿福祉部／長寿福祉課			

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	05就労支援事業	
細事業名	01 就職促進・人材確保対策事業			決算書	P.208
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興			
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,865千円		3,018千円	153千円	94.9 %	1,404千円
目的	国や府などの関係機関と連携して就職面接会を開催するほか、企業ガイドブックの作成・配布や人材確保支援等の取組を行い、U・Iターンの促進と企業の成長を支援する。				
主要な事務・事業の概要	○「ふるさと就職フェアin丹後」開催経費 406千円				
	日 時：平成28年10月22日（土）13時00分～16時00分				
	実 績：参加企業数 31社、参加者数 75人（内12人を採用）				
	一般求職者、大学等卒業予定の学生、学卒未就職者及びU・Iターン希望者などを対象に、地元事業所が参加する就職面接会を開催した。				
	・印刷製本費（ポスター90枚、チラシ36,500枚） 118千円				
	・会場設営委託料（アグリセンター大宮） 126千円				
	・広告料（FM京都スポットCM） 162千円				
	○「京丹後市合同企業説明会」開催経費 1,277千円				
	日 時：平成29年3月25日（土）13時00分～16時00分				
	実 績：参加企業数 30社、参加者数 69人				
大学等卒業予定者を主対象に、市内事業所参加の企業説明会を開催した。					
・印刷製本費（ポスター200枚、チラシ46,600枚） 192千円					
・市マイクロバス運行費用（京都駅～会場間：2往復） 76千円					
・情報発信業務委託料（就活応援サイトによる情報発信） 847千円					
・広告料（FM京都スポットCM） 162千円					
○平成29年版「京丹後市企業ガイドブック」作成（掲載企業：47社） 467千円					
○U・Iターン就職促進事業費補助金（交付件数：7件） 294千円					
○インターンシップ人材確保支援補助金（交付件数：2件） 400千円					
○市外就職フェア等参加経費（職員旅費等） 21千円					
京丹後市合同企業説明会（京都市）ほか					
主な財源					
成果・課題	○地域雇用の拡大、産業基盤の発展のため「ふるさと就職フェア」「京丹後市合同企業説明会」を開催し、加えて市内企業の魅力を発信する「企業ガイドブック」を作成し地元高校や京阪神地域の大学等に配布するなど、市内企業の人材確保を支援した。 ○U・Iターン希望者や高校生を含む学生及びその保護者に対する市内企業のPR活動（魅力発信）を強化するとともに、市外U・Iターン就職者向けのPR活動を、さらに促進する必要がある。				
事業所管課	商工観光部／商工振興課				

予 算 科 目	05労働費		01労働諸費		01労働諸費		06職業能力向上支援事業			
細 事 業 名	01 職業能力向上支援事業						決算書	P.210		
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興								
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築								
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①		執 行 率		(参考) 当初予算額		
299千円		299千円		0千円		100.0 %		715千円		
目 的	スキルアップや就職に必要な知識・技能等の習得に要する研修費用を補助することで、労働者や求職者の職業能力の向上を支援し、雇用の安定化と就職促進を図る。									
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○職業能力向上支援補助金 299千円									
	職業訓練法人丹後地域職業訓練協会等が実施する資格取得や技術習得のための研修を修了した方（求職者、商工業等事業所の経営者及び従業員）に対し、研修費用の一部を支援した。									
	・ 交 付 件 数 49件									
	・ 交 付 者 数 31人（実人数）									
	・ 補 助 率 求職者：研修費用の3分の2以内（上限額：年間2万円/人） 労働者：研修費用の2分の1以内（上限額：年間2万円/人）									
	(参考) 補助金交付実績 (単位：件、千円、人)									
	区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	交付件数	66	128	95	90	70	63	118	64	49
	交付額	406	1,177	470	486	504	434	653	532	299
	交付者数	45	95	59	57	47	50	70	49	31
主 な 財 源										
成 果 ・ 課 題	○在職者や求職者に補助金を交付することにより、スキルアップや就職に必要な知識、技能等の習得に寄与した。 ○労働者の人材不足の影響から求職者が減少傾向にあり、そのため受講者も減少傾向にあるが、補助制度の十分な周知に努め、在職者の更なる職業能力向上と求職者の就職促進を図る必要がある。									
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課								

予 算 科 目	05労働費		01労働諸費		01労働諸費		06職業能力向上支援事業	
細 事 業 名	02 職業訓練実施事業補助金						決算書	P.210
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興						
	(旧計画項目)	1 新経済戦略による「新グリーン経済」の構築						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額
2,781千円		2,863千円		82千円		97.1 %		2,863千円
目 的	職業訓練の機会を提供する団体の運営・事業実施経費に対し補助金を交付し、団体が 行う職業訓練の受講機会を維持することで、労働者や求職者の職業能力の向上を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○丹後地域職業訓練協会運営費補助金 2,072千円 職業訓練法人丹後地域職業訓練協会が実施する労働者や求職者の職業能力向 上を目的とした職業訓練講座（パソコン講座や簿記講座等）に要する経費に対 し、補助金を交付した。 ・職業訓練講座：12講座（19コース）実施 ・受講者数：延べ276人（うち市内：延べ164人） ○職業訓練校補助金 709千円 京丹後市職業訓練校が実施する技能習得を目指すことを目的とした職業訓練 講座（和裁、染色、着付け）に要する経費に対し、補助金を交付した。 また、卒業生や受講生の作品を「京丹後ちりめん祭」などのイベントにおい て展示し、技能習得の成果を発表した。 講座及び受講者数 ・和裁科：網野校10人 ・染色科（基礎Ⅰ）：峰山校5人、網野校5人 ・染色科（基礎Ⅱ）：峰山校5人、網野校5人 ・着付科：網野校9人 ＜卒業生・受講生による作品展示＞ ・第66回京丹後ちりめん祭（平成28年4月9～10日 網野体育センター） ・京都ものづくりフェア2016（平成28年11月12～13日 京都パルスプラザ）							
主 な 財 源	府補 未来づくり交付金（職業訓練実施事業補助金） 1,200千円							
成 果 ・ 課 題	○職業訓練の機会を提供する団体の活動に対し補助金を交付することにより、労働者や求職 者のためのスキルアップや就職に必要な知識、技能等の習得機会を維持・確保することがで きた。 ○地域産業が求める人材を育成するため、多様な講座を開講していくことで労働者や求職者 の職業能力の更なる向上を図る必要がある。							
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課						

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	01農業委員会費	02農業委員会活動事業	
細 事 業 名	01 農業委員会活動事業				決算書	P.210
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
12,435千円		12,487千円		52千円	99.5 %	14,218千円
目 的	農地法等に基づき許認可の審査・諸証明を行うとともに、農地利用を促進させ農業生産力の増進と農業経営の合理化を図り、農業の健全な発展に寄与する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農地法等に基づく許認可の審査を行うとともに、全農地利用状況調査、農地の利用における意向調査を行った。					
	○農業委員数19人 農地利用最適化推進委員36人 (平成29年3月31日現在)					
	○主な活動					
	・ 総会、定例会等			※農地法等に基づく許認可申請等の状況		
	活動内容		開催回数	備考	申請等の種類	
	定例会		12回	毎月	3条申請	
	総会		1回	7月	4条申請	
	運営委員会		6回	随時	5条申請	
	広報委員会		11回	随時	事業計画変更	
	農地パトロール		1回	8月実施	形状変更届	
全農地利用状況調査		随時	8月重点実施	非農地証明		
研修会		3回	視察研修 他	農地法の許可を要しない転用の届出		
(平成28年4月～平成29年3月)						
・ 意見書の提出 農業委員会等に関する法律第38条第1項に基づく、農地等の利用の最適化の推進に関する施策についての意見書(10月28日)						
○経費の内訳 12,435千円						
・ 農業委員報酬(会長311千円・職務代理267千円・委員243千円) 5,178千円						
・ 農地利用最適化推進委員報酬(195千円) ※各委員報酬は年額 5,265千円						
・ 「農業委員会だより」発行経費(年3回、8月・12月・3月全戸配布) 510千円						
・ 視察研修経費(中丹地域有害鳥獣処理施設【福知山市】) 68千円						
・ 京都府農業会議拠出金 674千円						
・ その他農業委員会活動経費(共済費、消耗品費ほか) 740千円						
主 な 財 源	府負 農地利用最適化交付金					2,970千円
成 果 ・ 課 題	○7月1日から新たに設置した農地利用最適化推進委員と農業委員の活動により、担い手への農地集積や耕作放棄地の解消等、農地の有効利用を促進することができた。 ○農地等の利用の最適化を推進するため、各委員と関係機関との更なる連携が必要である。					
事 業 所 管 課		農業委員会事務局				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	03農業者年金事務	
細 事 業 名	01 農業者年金事務				決算書 P.212
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
758千円	759千円	1千円	99.8 %	702千円	
目 的	農業者年金加入推進及び農業者年金加入者・受給者の資格管理等の事務を行い、農業者の老後生活の安定と福祉の向上を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農業者年金加入推進及び加入者・受給者の資格管理等の事務を行った。				
	○農業者年金の裁定請求、加入推進、受給者の資格管理等に関する事務費 758千円				
	・ 職員旅費 22千円				
	・ 消耗品費（事務用品） 330千円				
	・ 燃料費（公用車ガソリン代） 128千円				
	・ 印刷製本費（農業委員会だより） 102千円				
	・ 修繕料（公用車の修繕料） 32千円				
	・ 通信運搬費（電話代、郵送料） 144千円				
	○加入者・受給者の状況（平成29年3月末）				
	①加入者の状況				
通常加入者数 39人					
政策支援加入者数 7人					
合 計 46人					
②受給者の状況					
経営移譲・特例高齢・高齢年金受給者数 403人					
○年金資格及び保険料・給付関係書類の処理状況（平成28年4月～平成29年3月）					
種 類			種 類		
通常加入申込書		2件	死亡届	30件	
政策支援加入申込書		2件	現況届	379件	
経営移譲年金裁定請求書		0件	その他届	2件	
高齢年金裁定請求書		2件			
主 な 財 源	諸収入 農業者年金事務委託金				758千円
成 果 ・ 課 題	○農業者年金加入者及び受給者の資格管理を行い、農業者年金制度が適正に運用できた。 ○農業者への上乗せ年金制度であり、農業者の老後生活のために引続き加入を推進していく必要がある。				
事 業 所 管 課		農業委員会事務局			

予 算 科 目		06農林水産業費		01農業費		01農業委員会費		07機構集積支援事業																			
細 事 業 名		01 機構集積支援事業						決算書	P.212																		
総 合 計 画		計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																								
		(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興																								
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額																			
4,732千円		4,864千円		132千円		97.2 %		4,864千円																			
目 的		農地法に基づく農地制度を円滑に実施するため、遊休農地利活用推進員等を設置し、農地の利用調査、農地の利用調整等を行い、農地の保全を図る。																									
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要		遊休農地利活用推進員・農地相談員を設置し、農地の利用状況調査及び農地利用調整活動を実施した。																									
		○遊休農地の利用状況調査等に係る経費 4,732千円																									
		・臨時職員賃金（遊休農地利活用推進員1人、農地相談員1人） 2,996千円 ・臨時職員共済費（社会保険料・雇用保険料） 477千円 ・農業委員旅費 40千円 ・職員旅費 5千円 ・需用費（事務用品、コピー代、燃料費ほか） 521千円 ・役務費（公用車損害共済保険） 15千円 ・委託料（農地台帳システム保守委託料） 432千円 ・使用料及び賃借料（公用車リース料） 246千円																									
主 な 財 源		○遊休農地の利用調整の状況（平成28年4月～平成29年3月）																									
		<table><tr><td>種別</td><td>件 数</td><td>該当面積</td></tr><tr><td>調整筆数</td><td>385 筆</td><td>6.71 ha</td></tr><tr><td>地主面談</td><td>9 件</td><td></td></tr><tr><td>農家面談</td><td>17 件</td><td></td></tr><tr><td>交渉中</td><td>69 筆</td><td>2.05 ha</td></tr><tr><td>交渉成立</td><td>3 筆</td><td>0.57 ha</td></tr></table>								種別	件 数	該当面積	調整筆数	385 筆	6.71 ha	地主面談	9 件		農家面談	17 件		交渉中	69 筆	2.05 ha	交渉成立	3 筆	0.57 ha
		種別	件 数	該当面積																							
調整筆数	385 筆	6.71 ha																									
地主面談	9 件																										
農家面談	17 件																										
交渉中	69 筆	2.05 ha																									
交渉成立	3 筆	0.57 ha																									
※地主及び農家と面談の結果、ともに合意した場合のみ交渉成立となる。																											
府補		機構集積支援事業費補助金（10/10）						4,002千円																			
成 果 ・ 課 題		○農業者の高齢化や農産物価格の長期低迷、獣害の増加等により耕作放棄地が増加する中で、農地法に基づいて、農地の利用状況調査や利用意向調査を実施し、農地の保全を図った。 ○今後も農業従事者の減少・高齢化が進むことが予測される中で、引き続き農地の利用状況調査や利用調整活動に取り組み、遊休農地の解消に努めていく必要がある。																									
事 業 所 管 課		農業委員会事務局																									

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	50農業委員会一般経費	
細 事 業 名	01 農業委員会一般経費			決算書	P.212
総 合 計 画	計 画 項 目	2	6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
	(旧計画項目)	2	地域特性を活かした農林業の振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
1,156千円		1,251千円	95千円	92.4 %	423千円
目 的	農業委員会業務を円滑に遂行する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農業委員会事務局の事務等に要する経費を支出した。 ○経費の内訳 1,156千円 ・需用費（公用車のガソリン代、修繕料） 64千円 ・役務費（公用車の保険料、登録手数料等） 92千円 ・備品購入費（公用車（軽自動車）1台） 996千円 ・公課費（公用車重量税） 4千円				
主 な 財 源					
成 果 ・ 課 題	農業委員会事務局事務を適切に実施するとともに、公用車の適切かつ効率的な維持管理ができた。				
事 業 所 管 課		農業委員会事務局			

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	02農業総務費	03農村6次産業推進事業	
細 事 業 名	01 農村6次産業推進事業				決算書	P.214
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
963千円		1,279千円		316千円	75.2 %	1,279千円
目 的	本市の基幹産業である農林水産業の6次産業化を積極的に推進し、農家等の所得向上や経営の安定を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	政策企画委員を委嘱して、京都そばのブランド化を図るため、京丹後産そば粉を使ったスイーツとしてガレットの試作品を作り、テレビでPRすることができた。また、6次産業化に意欲のある農家等に補助金を交付し、新商品の研究・開発支援及び施設整備を行った。					
	○そば振興の取組					110千円
	・ 政策企画委員報酬（1人）					100千円
	・ 旅費					5千円
	・ 有料道路通行料等					5千円
	○6次産業支援事業補助金（限度額300千円）					853千円
	事業実施主体		補助対象	事業費	補助率	補助金額
	(株)岩木ファーム		自社生産した米焼酎のパッケージ（化粧箱）	752千円	2/3	300千円
	農業者（個人）		オーガニック加工野菜を生産するための厨房機器	765千円	2/3	300千円
	(株)野木源		米の真空パック詰めを行う機械	380千円	2/3	253千円
合 計			1,897千円		853千円	
主 な 財 源						
成 果 ・ 課 題	農産物の新商品開発等を支援し、農家等の所得向上を推進することができた。					
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課				

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	02農業総務費	50農業総務一般経費	
細 事 業 名	01 農業総務一般経費				決算書	P.214
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
5,799千円		6,012千円		213千円	96.4 %	6,856千円
目 的	農業行政を推進するための業務に必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出し、農業振興を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農業行政を推進するために必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出した。					
	○農業総務一般経費					5,799千円
	・旅費					225千円
	・需用費					1,760千円
	事務消耗品、公用車燃料代、修繕等					
	・役務費					239千円
	自動車登録手数料、公用車保険料等					
	・委託料					2,225千円
	農業総合地図情報システム保守等委託料					
	情報通信機器等保守委託料					
	・使用料及び賃借料					114千円
	自動車借上料、有料道路通行料、駐車場使用料					
	・備品購入費					43千円
	シュレッダー1台					
	・負担金、補助及び交付金					280千円
全国中山間地域振興対策協議会負担金、野菜等経営安定						
対策事業負担金、丹後米改良協会負担金等						
・償還金利子及び割引料					875千円	
過年度府支出金返還金（新規就農総合支援事業補助金）						
・公課費					38千円	
公用車重量税						
主 な 財 源	諸収入	野菜等経営安定対策事業負担金返還金				49千円
	諸収入	過年度新規就農総合支援事業補助金返還金				875千円
	諸収入	市有自動車損害共済金				57千円
	諸収入	自動車事故損害賠償金				1,055千円
成 果 ・ 課 題	各種団体と連携し、農業行政の推進が図れた。					
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課				

予 算 科 目		06農林水産業費		01農業費		03農業振興費		03京野菜生産加速化事業	
細 事 業 名		01 パイプハウス等整備事業						決算書	P.216
総 合 計 画		計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
		(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額	
30,759千円		30,759千円		0千円		100.0 %		0千円	
目 的		パイプハウス等施設の整備を支援し、農産物のブランド化・生産性の向上等、京野菜の産地づくりを図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要		丹後地域統一重点推進品目（丹後地域特産物育成協議会が産地力を強化するため、地域で重点的に推進する品目と対象産地を選定しているもの）に位置付けられている九条ねぎとメロン、みず菜の生産振興を図るため、パイプハウスを整備する農業団体に補助金を交付し、産地の強化に取り組んだ。							
		〇パイプハウス等整備事業費補助金 30,759千円							
		事業実施主体	事業内容	事業費	補助区分	補助率	補助金額	備考	
		京都農業協同組合	パイプハウス9棟(九条ねぎ)	16,008千円	①	55%	8,804千円	峰山 弥栄 久美浜	
		網野町ハウス園芸部会	パイプハウス11棟(メロン)	25,059千円	①	55%	13,781千円	網野	
		京丹後野菜振興会	パイプハウス10棟(みず菜)	16,350千円	②	50%	8,174千円	弥栄	
		合 計	30棟	57,417千円			30,759千円		
		[パイプハウス整備補助区分]							
		①京都ブランド産地形成型（補助率 府：50%、市：5%） 多様な流通に対応した広域的な園芸産地づくりの推進に必要な整備							
		②担い手規模拡大型（補助率 府：45%、市：5%） 産地の核となる担い手を中心とした園芸産地づくりの推進に必要な整備							
主 な 財 源		府補 ほんまもん京ブランド産地支援事業費補助金（50%、45%）						27,890千円	
成 果 ・ 課 題		〇丹後地域統一重点推進品目（九条ねぎ・メロン・みず菜）の推進と市内農業団体の負担軽減を図り、経営と所得の安定に寄与した。 〇丹後地域統一重点推進品目の推進には、品質だけでなく量の確保・安定供給が必要であり、今後も引き続き京都農業協同組合等の関係機関の協力を得ながら指導、支援を行う必要がある。							
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課							

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費		03農業振興費		03京野菜生産加速化事業	
細 事 業 名	02 生産・流通改善条件整備事業						決算書	P.216
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額
14,240千円		14,243千円		3千円		99.9 %		19,442千円
目 的	農業法人等が生産した農作物の集出荷貯蔵施設・設備整備等を支援することにより、産地の形成と拡大を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	「京のブランド産品」に認証された品目の生産拡大を図るため、農業法人等が行う栽培の効率化に向けた機械導入に対して、補助金を交付した。							
	〇生産・流通改善条件整備補助金						14,240千円	
	交付先		導入機械		事業費	府補助	市補助	補助金額
	網野町ハウス園芸部会		糖度センサー2台 (メロン)		2,657千円	45%	5%	1,327千円
	川上枝豆生産組合		脱さや機1台 (枝豆)		680千円	45%	5%	340千円
	株みらい久美浜		色彩選別機1式 (枝豆)		22,248千円	45%	5%	11,123千円
	井辺人参生産組合		収穫機1台 (ニンジン)		2,900千円	45%	5%	1,450千円
	合 計				28,485千円			14,240千円
主 な 財 源	府補 ほんまもん京ブランド産地支援事業費補助金(45%)						12,817千円	
成 果 ・ 課 題	丹後地域統一重点推進品目(ニンジン・メロン・枝豆)の品質向上・生産安定・出荷安定を図るため、機械・資材・設備の導入を支援し、ブランド力の向上や所得確保の一助となった。							
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課						

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	03農業振興費	04生物多様性を育む農業推進事業			
細 事 業 名	01 コウノトリと共生するさとづくり事業					決算書	P.216	
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額		
1,202千円		1,339千円		137千円	89.7 %	1,739千円		
目 的	環境や生物多様性に配慮した取組を支援し、水田等に集う多様な動植物と共生する営農環境の整備を行うとともに、無農薬栽培等安心・安全な農産物生産を推進する。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○生物多様性を育む農業推進セミナー開催						8千円	
	水稲有機栽培技術の確立と普及促進を図るため、水稲有機栽培実証事業の成果の情報発信と先進的事例に学ぶことを目的としたセミナーを開催した。							
	・開催日：平成29年3月6日 ・場所：アグリセンター大宮 ・32人参加							
	・講演会講師謝金（1人） 8千円							
	○京丹後市生物多様性を育む農業推進計画（2期）策定						92千円	
	検討委員会を設置し協議を行った。							
	・3回開催（平成28年9月29日、10月20日、11月17日）・検討委員：17人							
	・検討委員会委員報償金（延べ出席委員数：39人）92千円							
	○コウノトリと共生するさとづくり事業補助金						1,102千円	
	地域の生物多様性を推進するための水田ビオトープの設置管理や、市内で生産された有機肥料、たい肥又は液肥を利用して農産物を生産する農業者や組織等に対し、取組に係る経費の一部を助成した。							
(水田ビオトープの推進)						481千円		
区 分		峰山町	大宮町	久美浜町	合 計			
件 数		2件	1件	4件	7件			
取組面積		152a	95a	275a	522a			
補助金額		147千円	76千円	258千円	481千円			
(地域資源循環型農業の推進)						621千円		
区 分		峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計
件 数		4件	1件	4件	5件	3件	5件	22件
補助金額		162千円	50千円	110千円	100千円	63千円	136千円	621千円
主 な 財 源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金						1,000千円	
成 果 ・ 課 題	○水田の活用による農環境の保全につながり、生物多様性を育む農業を推進できた。 ○環境等に配慮した農業に取り組む農業者の負担軽減を支援することにより、安心・安全な農作物の生産と環境低負荷型農業を推進することができた。 ○取組団体が固定化していることや取組面積が減少していることから、新たな取組団体の参加が得られるよう積極的に広報等を行い、取組を推進していく必要がある。							
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課						

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	04生物多様性を育む農業推進事業																												
細 事 業 名	02 環境保全型農業直接支払交付金事業			決算書 P.216																												
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																														
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興																														
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率 (参考)当初予算額																												
8,451千円		8,452千円	1千円	99.9 % 10,886千円																												
目 的	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動等に取り組む農業者を支援し、環境保全型農業の普及推進を図る。																															
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○環境保全型農業直接支払交付金事業 8,213千円																															
	化学肥料・化学合成農薬の使用を地域の慣行レベルから5割以上低減する活動と合わせて、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動の取組に対し、取組内容に応じて補助金を交付した。 ※平成27年度からは国の補助金も併せて市から交付することとなったほか、個人申請から団体（2戸以上の農家組織等）での申請となった。																															
	<table><tr><td>取組内容</td><td>件数</td><td>面積</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>5割低減＋カバークロープ</td><td>3件</td><td>645 a</td><td>460千円</td></tr><tr><td>5割低減＋冬期湛水</td><td>13件</td><td>7,743 a</td><td>5,519千円</td></tr><tr><td>5割低減＋緩行性肥料／中干し</td><td>2件</td><td>1,123 a</td><td>400千円</td></tr><tr><td>有機農業</td><td>10件</td><td>2,543 a</td><td>1,812千円</td></tr><tr><td>有機農業（そば・飼料等）</td><td>1件</td><td>83 a</td><td>22千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>29件</td><td>12,137 a</td><td>8,213千円</td></tr></table>				取組内容	件数	面積	補助金額	5割低減＋カバークロープ	3件	645 a	460千円	5割低減＋冬期湛水	13件	7,743 a	5,519千円	5割低減＋緩行性肥料／中干し	2件	1,123 a	400千円	有機農業	10件	2,543 a	1,812千円	有機農業（そば・飼料等）	1件	83 a	22千円	合 計	29件	12,137 a	8,213千円
	取組内容	件数	面積	補助金額																												
	5割低減＋カバークロープ	3件	645 a	460千円																												
	5割低減＋冬期湛水	13件	7,743 a	5,519千円																												
	5割低減＋緩行性肥料／中干し	2件	1,123 a	400千円																												
	有機農業	10件	2,543 a	1,812千円																												
	有機農業（そば・飼料等）	1件	83 a	22千円																												
	合 計	29件	12,137 a	8,213千円																												
○環境保全型農業直接支払交付金事業推進事務費 238千円																																
・事務補助業務人材派遣委託料（平成29年1月分：1人） 166千円																																
・その他経費（消耗品費、通信運搬費） 72千円																																
主 な 財 源	府補	環境保全型農業直接支払交付金（1/2以内）		6,160千円																												
	府補	環境保全型農業直接支払交付金（定額）		238千円																												
成 果 ・ 課 題	○化学肥料・農薬を低減し、地球温暖化防止や生物多様性保全につながる農業生産活動を支援することで、取組件数の増加、農業分野における環境保全と環境意識の向上につながった。																															
	○2戸以上の農業組織等での申請が対象となるが、制度改正の周知を積極的に図るなど、引き続き取組を推進していく必要がある。																															
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課																														

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	03農業振興費	05利子助成事業	
細 事 業 名	01 利子助成事業				決算書	P.218
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
442千円		444千円		2千円	99.5 %	438千円
目 的	農業制度資金を借り入れた農業者に利子助成し、安定的な農業経営を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者及び低温被害を受けた梨生産農家に対して、利子助成金を交付した。					
	○農業経営基盤強化資金利子助成金 440千円 当該資金を借り入れた認定農業者 7人（10件） ○梨低温被害農林漁業セーフティネット資金利子助成金 2千円 平成22年の梨開花時期に低温被害を受けた梨生産農家 1人（1件）					
主 な 財 源	府補 農業経営基盤強化資金利子助成費補助金（1/2）					220千円
成 果 ・ 課 題	申請者に対し、金利負担を軽減するための利子助成金を交付し、農業経営の安定に資することができた。					
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課				

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	03農業振興費	06元気な農村地域づくり事業	
細 事 業 名	01 元気な農村地域づくり事業				決算書	P.218
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
2,231千円		2,247千円	16千円	99.2 %	2,814千円	
目 的	農業への理解を深め、展示や直販による地産地消の啓発及び地域活性化を図る。また、都市部での京丹後産農産物の販売・宣伝活動等により販路開拓・拡大を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	市内の農業イベントを通して、市内外の消費者に対し京丹後産農作物と農業・農村の活力をPRする取組を支援した。また、京丹後産農産物を販売して販路開拓と広報活動を行う農業団体等を支援するため、都市部の農業イベントへ参加した。					
	○元気な農村地域づくりイベント事業補助金				2,213千円	
	(単位：千円)					
	地 域	イ ベ ン ト 名	開 催 日	事 業 費	補 助 金 額	
	久美浜町	まるかじりまつり	10/16 (日)	1,631	1,253	
	弥栄・丹後町	弥栄・丹後秋の祭典	11/13 (日)	1,190	960	
	合 計	2か所		2,821	2,213	
	○旅費				18千円	
	都市部のイベントに出展する農業者及び農業団体を支援するための職員参加経費					
・ 摂津市農業祭 (職員：2人) 14千円						
日時：平成28年11月12日 (土)、13日 (日)						
場所：摂津市役所駐車場 ※入場者数：約9,000人						
参加：3団体						
・ 京都府農林水産フェスティバル (職員：2人) 4千円						
日時：平成28年11月26日 (土)、27日 (日)						
場所：京都府総合見本市会館 (パルスプラザ) ※入場者数：約44,000人						
参加：7団体						
主 な 財 源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金					2,000千円
成 果 ・ 課 題	○市内のイベントを通して、地域特有の農産物や農村地域の魅力を発信できた。また、市外イベントに参加する団体等を支援することで、京丹後市農産物のPRや販路開拓・拡大を図ることができた。 ○市外の農業イベントについては、今後も積極的に参加をする必要はあるが、参加団体が減少傾向にあるため、新たな団体が参加できるよう、さらなる周知を図る必要がある。					
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課				

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	03農業振興費	06元気な農村地域づくり事業													
細 事 業 名	03 明日の京都村づくり事業				決算書	P.218												
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興																
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額												
3,211千円		3,211千円		0千円	100.0 %	10,270千円												
目 的	地域の実情に応じた「京都村づくりプラン」の策定と様々な地域資源を活用した「一村一業」活動を支援することにより、地域の活性化を図る。																	
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	旧村等の集落及び集落連携体による「京都村づくりプラン」の策定や活動を支援し、農村地域の活性化を図る取組に対して補助金を交付した。																	
	○明日の京都村づくり事業補助金 3,211千円																	
	・久美浜町平田地区（3か年事業のうち3年目） 「観光果樹農園を開設し観光客の増加を図るとともに、地元高校生等と連携し農業後継者の育成を図る」ことを目的としたプランを基に、観光農園の基礎となる老朽化した梨棚を修繕整備し、また次世代の高校生への実演農業指導や小学生の総合学習での講演授業を行った。																	
	・網野町三津地区（3か年事業のうち3年目） 「漁港朝市を開設し、定置網漁メニューの教育旅行を実施して活性化及び交流人口の増加を図る」ことを目的としたプランを基に、朝市を試行して食事等を提供した。また定置網体験も試行し、H29年度からは有料化し通年で実施予定。また定置網体験の漁獲物を販売するための営業許可や一般の方に周知するためにPR物や定置網体験ガイドブックを作成した。																	
		<table><tr><td>地 区</td><td>事業費</td><td>補助金</td></tr><tr><td>平田地区</td><td>4,029千円</td><td>2,211千円</td></tr><tr><td>三津地区</td><td>2,120千円</td><td>1,000千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>6,149千円</td><td>3,211千円</td></tr></table>					地 区	事業費	補助金	平田地区	4,029千円	2,211千円	三津地区	2,120千円	1,000千円	合 計	6,149千円	3,211千円
地 区	事業費	補助金																
平田地区	4,029千円	2,211千円																
三津地区	2,120千円	1,000千円																
合 計	6,149千円	3,211千円																
主 な 財 源	府補 明日の京都村づくり事業費補助金（1/2）					3,010千円												
成 果 ・ 課 題	○プランを基に地域の活性化に資することができた。 ○今後、地域資源を活かした体験型観光や交流等により、地域外貨を獲得するビジネスモデルを検討するなど、地域ぐるみでの活動へと展開していくことが必要である。																	
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課																

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	03農業振興費	06元気な農村地域づくり事業	
細 事 業 名	04 むらの活力向上事業				決算書	P.218
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額		
451千円	451千円	0千円	100.0 %	0千円		
目的	過疎化・高齢化が進む農山漁村地域が抱える多様な課題を解決するため、複数集落が連携して地域ぐるみで意欲的に実践する取組を支援し、当該地域の持続的発展を図る。					
主要な事務・事業の概要	複数の集落が連携・協力して、地域の現状、課題、望む将来像及び必要な取組等をまとめた里力再生計画等の将来構想に基づき、実践する活動に対して補助金を交付した。					
	○むらの活力向上事業費補助金 451千円 ・実施主体：五十河地域里力再生協議会（地域連携組織） ・実施場所：大宮町五十河地域 ・事業費 ：523千円 ・補助率 ：府2/3、市1/5 五十河地域里力再生協議会は、域学連携事業の拠点施設として田舎体験工房「季楽里」を利用し、大学生のほか都市住民を受け入れ都市農村交流を図ったほか、地域資源マップや田舎体験メニューを開発し、地域特産物を活用した体験教室などを行うことで、地域全体の活性化に取り組んだ。					
主な財源	府補 むらの活力向上事業費補助金（2/3）				347千円	
成果・課題	○過疎・高齢化・後継者不足などの課題を抱える地域において、地域の連携体が今後の地域の将来像を見据えながら、地域活性化に資する取り組みができた。 ○今回の事業は単年度であるが、補助事業終了後においても地域活性化活動の継続が図れるよう助言等、継続した支援が必要である。					
事業所管課		農林水産部／農政課				

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	03農業振興費	07都市農村交流推進事業	
細 事 業 名	01 都市農村交流推進事業				決算書	P.218
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
177千円		280千円	103千円	63.2 %	450千円	
目 的	農林漁業体験や農家漁家への民泊によって魅力ある地域資源をアピールし、農村・漁村への誘客と、都市農村交流を通じて地域の活性化を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農家漁家民宿開業の支援・拡大に努め、農家民宿を活用した大学生ツアーを実施した。さらに、教育旅行誘致のために近畿北部の自治体が集まり情報交換等を実施した。 ○農家民宿活用事業経費（ツアーバス代）163千円 関西圏の大学生ボランティアが、丹後町袖志地区において、棚田保全を目的として田植に参加し、農家民宿等への宿泊を通じて、田舎暮らしの良さを認識するためのツアーを実施した。 日 時：平成28年5月14日（土） 参加者：18人 ○農家民宿誘致研究等経費（職員旅費）14千円 （参考） 市内農家漁家民宿登録件数：19件（H29.3.31現在）					
主 な 財 源						
成 果 ・ 課 題	○大学生ボランティア等の誘致などを行い、都市農村交流を進める基盤が形成され、農村・漁村への誘客に資することができた。 ○今後の都市農村交流の活性化には、大学と連携して、地域づくりや農家民泊の新体験メニューの開発など、新規体験型旅行の整備が必要である。					
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課				

予 算 科 目		06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	09森の全国交流拠点管理運営事業		
細 事 業 名		01 森の全国交流拠点管理運営事業				決算書 P.218	
総 合 計 画		計 画 項 目	24 国際交流・多文化共生と広域連携の促進				
		(旧計画項目)	27 国際交流による多文化共生と地域間連携の活性化				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
290千円		331千円	41千円	87.6 %	331千円		
目的	蒲井・旭地域振興計画に基づき製作したツリーハウスの管理運営を行い、蒲井・旭地域を「心と体と環境にやさしい交流の場所」として全国に発信していく。						
主要な 事務・事業の 概要	ツリーハウスの適切な利用が図られるように、施設の管理運営を行った。						
	○ツリーハウス維持管理経費					290千円	
	・火災保険料					3千円	
	・ツリーハウス管理委託料					65千円	
	・ツリーハウス保守点検委託料					216千円	
・土地借上料					6千円		
(参考) ツリーハウス利用状況 (単位：人)							
		H23	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数		479	548	383	697	854	266
※H23は4月～10月までの7か月間の利用者数							
主な 財源							
成果・課題	○市民だけでなく、京阪神地域の観光客など市外からの利用者もあり、心と体と環境にやさしい交流場所として、蒲井・旭地域を発信することができた。 ○ツリーハウス利用想定期間の10年を間近に控え、大規模な補修又は撤去など、今後の対応を検討する必要がある。						
事業所管課		市民環境部／久美浜市民局					

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	03農業振興費		14中山間地域等担い手収益力向上支援事業	
細 事 業 名	01 中山間地域等担い手収益力向上支援事業					決算書	P.218
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興					
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興					
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率	(参考)当初予算額
4,005千円		4,005千円		0千円		100.0 %	0千円
目 的	国の「TPP関連政策大綱」に基づき、経営規模の拡大や高収益作物の導入等の取組を支援し、担い手の収益力の向上を図る。						
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	経営規模拡大、高収益作物導入、既存作物価値向上等の取組により、今後3年間で販売額を10%以上向上させることを目標とする収益力向上計画を策定し、市の認定を受けた上で、当該計画に基づく取組を実施、実現しようとする担い手に対し、その経費等を支援した。						
	○中山間地域等担い手収益力向上支援事業交付金					4,005 千円	
	作目	取組主体・戸数	収益力向上 の取組内容	取組面積 (a)	交付金単価 (千円/10a)	交付金額 (千円)	
	茶	茶生産農家 4戸	防除体系変更による 輸出用茶への転換	801	50	4,005	
	計			801		4,005	
主 な 財 源	府補	中山間地域等担い手収益力向上支援事業費補助金 (10/10)					4,005千円
成 果 ・ 課 題	○平成29年産一番茶の販売高が大幅に増加（前年比66%増）した。また、市内茶園視察、販売入札会での応募数や問合せが増加するなど、市内産茶（輸出用茶）への関心、需要が高まっている。 ○近年の生産改善の取組により、品質・生産量ともに大きく改善しているが、経営を安定させるためには、品質・生産量ともに更なる改善が必要である。						
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課					

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費		04農政推進費		01農業技術者協議会活動促進事業	
細 事 業 名	01 農業技術者協議会活動促進事業						決算書	P.218
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率	(参考)当初予算額	
2,284千円		2,284千円		0千円		100.0 %	3,034千円	
目 的	農業経営基盤強化促進法に基づき、農業振興を図るために設置された京丹後市農業技術者協議会の活動を支援することにより、市内全体の農業振興を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者の認定に係る審査機関として、農業技術者協議会において、個別具体的な経営基盤強化の推進について検討を行った。 また、認定農業者・集落営農等の担い手育成のため、農業経営改善支援センターを中心に経営相談や経営改善計画の作成指導など、経営基盤強化の促進に資する活動を行った。							
	○農業技術者協議会活動経費						2,284千円	
	・農業経営改善支援センター嘱託員報酬（1人、12か月）						1,431千円	
	・農業経営改善支援センター嘱託員費用弁償						53千円	
	・農業技術者協議会活動促進事業補助金						800千円	
	<活動実績>							
	・認定農業者育成数						25人（新規2人、更新23人）	
	・農業法人育成数						7法人（新規1法人、更新6法人）	
	・経営改善相談活動							
	相談活動日数						延べ100日	
対象人数						延べ170人		
主 な 財 源	府補	認定農業者等確保・育成支援事業費補助金（1/2以内）					400千円	
成 果 ・ 課 題	○認定農業者・集落営農等の担い手の育成及び農用地の利用集積の推進により、市内全体の農業振興に寄与することができた。 ○更なる地域農業の振興を図るため、認定農業者・集落営農等の担い手を増加させるとともに、農業法人化を推進する必要がある。							
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課						

予 算 科 目		06農林水産業費		01農業費		04農政推進費		02中山間地域等直接支払制度事業		
細 事 業 名		01 中山間地域等直接支払制度事業							決算書	P.218
総 合 計 画		計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興							
		(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興							
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考)当初予算額		
66,636千円		66,708千円		72千円		99.8 %		66,008千円		
目 的		中山間地域等において、農業生産活動等の維持を通じて耕作放棄地の発生を防止し、農業・農地の多面的機能を確保する取組を支援する。								
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要		耕作放棄地の増加等に伴う農業・農地の多面的機能の低下が特に懸念される中山間地域等において、農業生産活動等の維持を通じて、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する観点から、農振農用地区域内の1ha以上の農地を対象とした5か年（平成27年度～31年度）の協定を基に、中山間地域等に直接交付金を支払った。								
		○中山間地域等直接支払制度推進事業 322千円								
		制度の定着に向けて行う推進事務、協定農用地農業生産活動等の実施についての確認事務、直接支払交付金の交付事務経費								
		・推進事務 161千円								
		・確認事務 99千円								
		・交付事務 62千円								
		○中山間地域等直接支払制度事業補助金 66,314千円								
		集落協定及び個別協定を締結し、5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対し、その経費について交付金を交付した。								
		区 分	集落協定	個別協定	交 付 額					
		峰山町	5 (40ha)	-	6,068千円					
		大宮町	6 (48ha)	-	9,303千円					
		網野町	-	1 (4ha)	826千円					
		丹後町	8 (65ha)	-	9,827千円					
		弥栄町	3 (38ha)	-	6,185千円					
		久美浜町	23 (194ha)	-	34,105千円					
		合 計	45 (385ha)	1 (4ha)	66,314千円					
主 な 財 源		府補	中山間地域等直接支払制度事業補助金 (3/4)						49,732千円	
		府補	中山間地域等直接支払制度推進事業補助金 (10/10)						322千円	
成 果 ・ 課 題		○農業生産条件の不利地域である中山間地域等において、協定農用地を設定（389ha：H27～H31）することにより、将来に向けて耕作放棄地の発生防止等に取り組む体制を整えることができた。 ○農家の高齢化が進行しているため、担い手育成や広域化支援を進めながら、協定農用地の拡充に取り組む必要がある。								
事 業 所 管 課			農林水産部／農政課							

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費		04農政推進費		03農地流動化対策事業	
細 事 業 名	01 土地利用調整推進事業						決算書	P.220
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考)当初予算額
7,604千円		7,618千円		14千円		99.8 %		24,019千円
目 的	公益社団法人京都府農業総合支援センター（農地中間管理機構）から農地中間管理事業を受託し、担い手への農地集積や適正な農地の保全を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	京都府農業総合支援センター（農地中間管理機構）と京丹後市の両方で農地中間管理事業の業務委託を締結して事業を推進した。							
	平成26年度から平成30年度までに農地中間管理機構に農地を貸出した場合に、地域集積協力が交付される制度が創設され、平成28年度は48.22haの農地を貸出した。また、経営転換した農家1人に対して経営転換協力を交付した。							
	○農地中間管理事業に関する受託業務						1,818 千円	
	・臨時職員賃金						1,518千円	
	・臨時職員社会保険料・雇用保険料						245千円	
	・職員旅費						5千円	
	・印刷製本費						50千円	
	○地域集積協力金交付事業交付金						5,506 千円	
	大山地区水田 17.61 ha						2,377千円	
	森本地区水田 29.71 ha						3,120千円	
竹藤地区水田 0.90 ha						9千円		
合 計 48.22 ha								
○経営転換協力金交付事業交付金 1人						280 千円		
主 な 財 源	府補	機構集積協力金交付事業費補助金 (10/10)						5,786千円
	諸収入	農地中間管理機構事業等業務委託金						1,804千円
成 果 ・ 課 題	○地域との土地利用調整を適正に行い、農地中間管理機構及び地域集積協力を活用した担い手への農地集積が図られた。 ○農地集積を円滑に図るため、地域で作成する京力農場プランと連携した土地利用調整を効率的に進めていく必要がある。							
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課						

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	03農地流動化対策事業
細 事 業 名	02 京力農場ﾌﾟﾗﾝ作成等事業			決算書 P.220
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考)当初予算額
90千円		100千円	10千円	90.0 % 1,545千円
目 的	各地域が主体的に地域農業の在り方について議論を進めることで、中核的な担い手への農地集積を促し、地域農業の競争力・体質強化を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○京力農場プラン検討会活動経費			90千円
	農業経営者会議、農業委員会、京都府、京都農業協同組合などの関係機関で組織する「京力農場プラン検討会」を設置し、集落や地域単位で作成された「京力農場プラン（案）」について検討及び審査を行った。			
	・京力農場プラン検討委員謝金 委員数：8人、検討会：2回開催（H29.2.7、H29.3.29）			40千円
	・消耗品費			50千円
	※京力農場プラン作成実績（新規：3地区、更新：10地区）			
	町 名	新 規	更 新	
	峰 山 町		国営二箇団地、内記地区	
	大 宮 町		奥大野地区	
	網 野 町		浜詰地区、国営郷1団地	
	丹 後 町	大山地区		
弥 栄 町		国営上野団地、国営和田野団地		
久美浜町	甲山地区、口三谷地区	国営栃谷2団地、女布地区 竹藤地区		
主 な 財 源	府補 京力農場プラン作成事業費補助金（1/2、定額）			45千円
成 果 ・ 課 題	○担い手の確保・育成や農地集積計画などを総合的にまとめた「京力農場プラン」を、これまでに55地区作成したことにより、該当地域における5年後に目指すべき姿、課題を明確にすることができた。 ○引き続き、プランの新規策定と更新に取り組む地区等を支援する必要がある。			
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課		

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	04農政推進費	04新規就農者育成事業			
細 事 業 名	02 就農研修資金償還金助成事業				決算書	P.220		
総 合 計 画	計 画 項 目	2	6次産業化・ブランド化で農林業を振興					
	(旧計画項目)	2	地域特性を活かした農林業の振興					
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額				
1,068千円	1,068千円	0千円	100.0 %	1,548千円				
目的	新規就農者の借受資金の償還を支援することにより、地域農業の担い手の育成・確保を図る。							
主要な事務・事業の概要	京都府就農研修資金を借り受けて就農研修を行った後、京丹後市内において新規就農し、かつ就農時の年齢や就農形態が一定の要件を満たす者に対し、その償還金の全部又は一部を助成した。							
	○就農研修資金償還金助成金 1,068 千円							
	・償還条件：償還期間は就農後10年（うち据置期間5年）、5年均等償還							
	・支給要件：償還期間中は就農（雇用による就農は除く）していること							
	・助成率：2/3（平成16年度以前の貸付決定の場合は10/10）							
	(単位：千円)							
	就農地域	人数	貸付決定 年 度	貸付決定 金 額	償還期間	単年度 償還額	助成率	助成 金額
	峰山町	1人	H16	3,600	H24～H28	720	全額	720
	大宮町	1人	H16	1,200	H24～H28	240	全額	240
			H18	810	H24～H28	162	2/3	108
合計	2人		5,610		1,122		1,068	
主な財源	府補 就農研修資金償還金助成事業費補助金（1/2以内）					534千円		
成果・課題	就農意欲の喚起を図るとともに、就農初期の負担の軽減を図ることができた。							
事業所管課		農林水産部／農政課						

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費		04農政推進費		04新規就農者育成事業																																																														
細 事 業 名	03 新規就農総合支援事業						決算書	P.220																																																													
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																																																																			
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興																																																																			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考)当初予算額																																																														
43,592千円	43,593千円		1千円		99.9 %		56,343千円																																																														
目 的	経営の不安定な就農初期の所得確保を支援するために、青年就農者に給付金を給付し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。																																																																				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	給付対象要件を満たした青年就農者に対し、青年就農給付金（経営開始型）を給付した。																																																																				
	【主な給付対象要件】																																																																				
	・ 独立自営就農で、その就農時の年齢が45歳未満あること																																																																				
	・ 就農地域の京力農場プランに中核的担い手として位置付けられていること																																																																				
	・ 前年の総所得額が350万円（H26年度以前は250万円）以内であること																																																																				
	【給付金額及び給付期間】																																																																				
	・ 給付金額：最大150万円／年（夫婦受給の場合は225万円／年）																																																																				
	・ 給付期間：最長5年間（既に経営開始していた場合は残年数）																																																																				
	○青年就農給付金事業（経営開始型） 43,500 千円																																																																				
	<table><tr><td rowspan="2">就農地域</td><td colspan="2">半額給付</td><td colspan="2">全額給付</td><td colspan="2">合 計</td></tr><tr><td>人数</td><td>金額（千円）</td><td>人数</td><td>金額（千円）</td><td>人数</td><td>金額（千円）</td></tr><tr><td>峰山町</td><td>0</td><td>0</td><td>4</td><td>6,000</td><td>4</td><td>6,000</td></tr><tr><td>大宮町</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>網野町</td><td>1</td><td>750</td><td>9 (2)</td><td>12,750</td><td>10 (2)</td><td>13,500</td></tr><tr><td>丹後町</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1,500</td><td>1</td><td>1,500</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td>2</td><td>1,500</td><td>11</td><td>16,500</td><td>13</td><td>18,000</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>4,500</td><td>3</td><td>4,500</td></tr><tr><td>合 計</td><td>3</td><td>2,250</td><td>28 (2)</td><td>41,250</td><td>31 (2)</td><td>43,500</td></tr></table>								就農地域	半額給付		全額給付		合 計		人数	金額（千円）	人数	金額（千円）	人数	金額（千円）	峰山町	0	0	4	6,000	4	6,000	大宮町	0	0	0	0	0	0	網野町	1	750	9 (2)	12,750	10 (2)	13,500	丹後町	0	0	1	1,500	1	1,500	弥栄町	2	1,500	11	16,500	13	18,000	久美浜町	0	0	3	4,500	3	4,500	合 計	3	2,250	28 (2)	41,250	31 (2)
就農地域	半額給付		全額給付		合 計																																																																
	人数	金額（千円）	人数	金額（千円）	人数	金額（千円）																																																															
峰山町	0	0	4	6,000	4	6,000																																																															
大宮町	0	0	0	0	0	0																																																															
網野町	1	750	9 (2)	12,750	10 (2)	13,500																																																															
丹後町	0	0	1	1,500	1	1,500																																																															
弥栄町	2	1,500	11	16,500	13	18,000																																																															
久美浜町	0	0	3	4,500	3	4,500																																																															
合 計	3	2,250	28 (2)	41,250	31 (2)	43,500																																																															
※()は、うち夫婦共同経営の人数、1夫婦2人																																																																					
○推進事務費（普通旅費、消耗品費、通信運搬費など） 92 千円																																																																					
主 な 財 源	府補 新規就農総合支援事業費補助金（10/10以内）						43,590千円																																																														
成 果 ・ 課 題	○青年就農者に対して給付金を給付し、経営の不安定な就農初期の所得確保を支援することで、就農意欲の喚起を図ることができた。 ○引き続き関係機関と連携して営農指導・支援を行い、経営の安定化や認定農業者への経営発展を図る必要がある。																																																																				
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課																																																																			

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費		04農政推進費		04新規就農者育成事業										
細 事 業 名	04 丹後農業経営実践型学舎推進事業						決算書	P.220									
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興															
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興															
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額													
10,481千円	10,526千円	45千円	99.5 %	15,214千円													
目 的	京都府と京丹後市が共同で創設した「丹後農業実践型学舎」の経費負担を行い、新たに国営開発農地に入植する安定的な農業生産の担い手育成を図る。																
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	平成25年7月に創設した「丹後農業実践型学舎」に係る京丹後市所有の施設、車両等の経費並びに学舎用地整備における市負担金を支出した。																
	○研修生滞在施設の管理経費							201 千円									
	・ 需用費							102 千円									
	光熱水費（共同棟の水道・下水道・電気代）																
	・ 役務費 火災保険料							44 千円									
	・ 使用料及び賃借料 テレビ受信料							55 千円									
	○液肥関連車両の管理経費							609 千円									
	・ 需用費							454 千円									
	修繕料（液肥運搬車の車検修繕、液肥散布車の修繕等）																
	・ 役務費							126 千円									
自動車登録手数料（車検代行手数料）																	
自動車損害保険料（液肥運搬車、液肥散布車の保険代）																	
・ 公課費							29 千円										
自動車重量税（液肥運搬車の重量税）																	
○学舎用地整備事業に係る負担金							9,671 千円										
（京都府）府営基盤整備促進事業・府営農地耕作条件改善事業																	
事業費：48,355千円（市負担率20%）																	
農地整備：内記団地・五箇団地（峰山町）、坂野団地（弥栄町）																	
【参考】																	
<table><tr><td></td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr><tr><td>入学舎生</td><td>10人</td><td>7人</td><td>5人</td><td>5人</td></tr></table>									H25	H26	H27	H28	入学舎生	10人	7人	5人	5人
	H25	H26	H27	H28													
入学舎生	10人	7人	5人	5人													
主 な 財 源	使用料	丹後農業実践型学舎研修生滞在施設使用料						347千円									
	市債	農業経営実践型学舎用地整備負担金事業債（合併特例債）						9,100千円									
成 果 ・ 課 題	○丹後農業実践型学舎事業に係る施設及び機械設備の維持管理費用を支出し、事業を円滑に実施することができた。 ○今後の学舎生増員に伴い、学舎用地を計画的に確保していく必要がある。 ○市外から入舎している学舎生が、学舎修了後に定住できる住宅の確保を支援していく必要がある。																
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課															

予算科目	06農林水産業費		01農業費	04農政推進費	04新規就農者育成事業	
細事業名	06 新規就農条件整備支援事業				決算書	P.220
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
101千円		101千円		0千円	100.0%	0千円
目的	新規就農者の就農時又は経営が不安定な就農初期における農業用機械、施設等の整備に係る費用を支援し、地域農業の新たな担い手の育成・確保を図る。					
主要な事業・事業の概要	就農初期の初期投資に係る負担の軽減を図るため、農業用機械、施設等のリース料に対して補助金を交付した。					
	○新規就農条件整備支援事業補助金					101千円
	(単位：千円)					
	事業実施主体	事業内容（リース物件）		事業費	補助率	補助金額
	認定新規就農者(個人)	マルチロータリー、フレールモア、掘上機、つる切機 各1台		77	3/10	23
認定新規就農者(個人)	ネギ皮むき機、掘取機 各1台		106	3/10	31	
認定新規就農者(個人)	ネギ皮むき機2台、中型管理機1台		158	3/10	47	
合計			341		101	
主な財源						
成果・課題	新規就農者の初期投資に係る負担を軽減することができた。					
事業所管課		農林水産部／農政課				

予算科目	06農林水産業費		01農業費	04農政推進費	05農産物流通対策事業	
細事業名	01 農産物流通対策事業				決算書	P.220
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
2,643千円		2,818千円	175千円	93.7 %	1,324千円	
目的	京丹後の顔が見える流通を進めるため、地産地消、地産都消、輸出等の新たな取組を支援し、販路拡大と農業者等の所得向上を図る。					
主要な事業・事業の概要	農産物輸出への関心の醸成と機会の創造を目的に農産物輸出促進セミナーを開催するとともに、新たな流通を生み出す取組に対して補助金を交付し、市内農産物の販路拡大を図った。					
	○農産物輸出促進セミナー				42千円	
	・開催日：平成29年3月22日 ・場所：丹後王国「食のみやこ」情報交流センター					
	・講演会講師謝金（1人） 42千円					
	○農林水産物流通対策事業補助金（補助率：2/3以内）				600千円	
	事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額		
	(株)火水風	ホームページ開設による販路拡大	362千円	241千円		
	農業者(個人)	新たな市場への農産物出荷	224千円	118千円		
	農業者(個人)	摘果メロンによる漬物開発	471千円	241千円		
	合 計		1,057千円	600千円		
○国内外販路開拓促進事業費補助金（補助率：1/2以内）				2,001千円		
事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額			
農業者(個人)	沖縄、シンガポールでの商談会に出席	595千円	297千円			
農業者(個人)	シンガポールでの商談会に出席	589千円	294千円			
農業者(個人)	沖縄、香港での商談会に出席	718千円	359千円			
農業者(個人)	沖縄、シンガポールでの商談会に出席	553千円	276千円			
農業者(個人)	香港での商談会に出席	585千円	292千円			
農業者(個人)	沖縄、東京での商談会に出席	202千円	101千円			
農業者(個人)	沖縄、シンガポールでの商談会に出席	572千円	285千円			
農業者(法人)	東京での商談会に出席	196千円	97千円			
合 計		4,010千円	2,001千円			
主な財源						
成果・課題	○国外への輸出等新たな流通を生み出すことに対する経費を支援し、農家の積極的な取組を後押しすることができた。また、新たな販路が開拓されたことで、農家の経営と所得の向上が図れ、京丹後市のPRにもつながった。 ○関係機関等で取組グループの情報共有を進めるとともに、更なる流通の拡大を図るため、引き続き市内農産物のブランド化推進やPRに取り組んでいく必要がある。					
事業所管課		農林水産部／農政課				

予 算 科 目		06農林水産業費		01農業費		04農政推進費		06集落営農発展型農場づくり事業		
細 事 業 名		01 集落営農発展型農場づくり事業						決算書	P.220	
総 合 計 画		計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興							
		(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興							
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額		
11,975千円		11,975千円		0千円		100.0 %		0千円		
目 的		「京力農場プラン」に基づき集落営農組織等が取り組む農地集積・経営基盤強化に係る体制整備を支援し、地域農業の維持・発展を図る。								
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	地域で策定された「京力農場プラン」に基づき、地域農業再生の核となる法人等が実施する加工・流通販売の多角化や特別栽培米の生産拡大に向けた取組に対して補助金を交付した。									
	○集落営農発展型産地づくり事業費補助金						11,975千円		(単位：千円)	
	事業実施主体		内 容		事業費	補助区分	補助率	補助金額		
	(有)アグリランドさんとよ		トラクター1台		6,000	①	45%	2,700		
			田植機1台		3,160	①	45%	1,422		
	(農)アグリ竹藤		コンバイン1台		8,946	②	55%	4,919		
	(株)シーズ金太郎		コンボキャスター1台		350	①	45%	2,934		
			トラクター1台		5,100					
			マルチロータリー1台		430					
			脱さや機1台		640					
合 計				24,626			11,975			
[補助区分]										
①京野菜生産拡大型（補助率 府：40%、市：5%）										
②農地集積型（補助率 府：50%、市：5%）										
主 な 財 源	府補 集落営農発展型産地づくり事業補助金（1/2以内）						10,744千円			
成 果 ・ 課 題	○担い手が不足する地域をけん引する集落営農組織等への支援により、営農継続につながる体制強化が図られた。 ○補助要件である「京力農場プラン」の策定段階から、法人化等に向けた検討を京都府等と連携しながら進める必要がある。									
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課								

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費		04農政推進費		08地域農業振興事業	
細 事 業 名	01 地域農業振興事業						決算書	P.222
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額
1,997千円		2,000千円		3千円		99.8 %		2,000千円
目 的	地域農業のけん引役となる認定農業者や集落営農組織等の取組を支援し、足腰の強い地域農業の推進と農村の有する多面的機能の維持・発展を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	営農規模の拡大や省力化による生産コスト削減に取り組む認定農業者及び集落営農組織等が行う、必要な機械・施設等の導入に対して補助金を交付した。							
	○地域農業振興事業補助金 1,997千円							
	(単位：千円)							
	事業実施主体	導入機械等		事業費		補助金額		備 考
	認定農業者	コンバイン1台		488		217		丹後町
	認定農業者	田植機1台		1,944		445		丹後町
	認定農業者	田植機1台		2,500		445		弥栄町
	永留稲作改善組合	コンバイン1台		4,771		445		久美浜町
	アグリ羽衣	コンバイン1台		1,000		445		峰山町
	合 計			10,703		1,997		
主 な 財 源	府補 未来づくり交付金（地域農業振興事業補助金）							708千円
成 果 ・ 課 題	多くの認定農業者及び集落営農組織の取組を支援したことで、農地規模拡大や作業の省力化が図れた。							
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課						

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	10担い手確保・経営強化支援事業		
細 事 業 名	01 担い手確保・経営強化支援事業				決算書	P.222
総 合 計 画	計 画 項 目	2	6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
	(旧計画項目)	2	地域特性を活かした農林業の振興			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
7,550千円		7,550千円		0千円	100.0 %	0千円
目 的	担い手農家が売上高の拡大や経営コストの縮減等経営発展に関する目標を定め、この目標の達成に向けた取組を支援する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	売上高の拡大や経営コストの縮減などに意欲的に取り組む地域の担い手農家が、融資を活用して農業用機械、施設を導入する際の融資残に対して補助金を交付した。					
	○担い手確保・経営強化支援事業補助金				7,550千円	
	実施主体：(株)エチ農産					
	対象機械	仕 様	数 量	事業費	補助金額	備 考
	コンバイン	6条刈	1台	16,310千円	7,550千円	久美浜町
田植機	6条植	1台				
主 な 財 源	府補	担い手確保・経営強化支援事業補助金（1/2以内）				7,550千円
成 果 ・ 課 題	担い手農家がコンバイン6条刈（1台）と田植機6条植（1台）を購入するための一部を補助することにより、売上高の拡大や経営コストの縮減などを目指すための農業用機械を整備することができた。					
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課				

予 算 科 目		06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	01水田農業振興推進事業		
細 事 業 名		01 水田農業振興推進事業				決算書	P.222
総 合 計 画		計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
		(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
7,850千円		7,858千円		8千円	99.8 %	11,804千円	
目 的	経営所得安定対策等を円滑に実施し、農業者の農業経営の安定を図ることにより、農業の振興を推進する。						
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	経営所得安定対策等に係る推進活動や要件確認等を実施し、農業者の農業経営の安定化を支援した。						
	○経営所得安定対策等推進事業に係る経費				7,850千円		
	・職員時間外勤務等手当				1,447千円		
	・臨時職員賃金等（2人）				3,601千円		
	・経営所得安定対策推進謝金（184集落）				1,218千円		
	・転作現地確認謝金（90集落）				305千円		
	・事務等経費				1,279千円		
(旅費、消耗品費、燃料費、印刷製本費、郵送料ほか)							
主 な 財 源	府補	数量円滑化推進事業費補助金（10/10）				710千円	
	府補	経営所得安定対策推進事業費補助金（10/10）				7,140千円	
成 果 ・ 課 題	○農業者の経営所得安定対策等の制度への加入推進や交付金の受領等に係る事務を行い、多くの農業者が安心して農業経営ができた。 ○農業者の経営安定と米の需給調整につながる経営所得安定対策等の制度に、さらに多くの農業者の加入を促す必要がある。						
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課					

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	05水田農業振興費	01水田農業振興推進事業																														
細 事 業 名	02 京丹後米ブランド化推進事業				決算書 P.222																														
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																																	
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興																																	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額																														
878千円		878千円	0千円	100.0%	1,900千円																														
目 的	特別栽培米の団地化促進及び日本一の特A米産地づくりの定着推進を図ることにより、商品価値の高い京丹後米のブランド化を進める。																																		
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	売れる京丹後米のブランド化を進めるため、特別栽培米の品質向上と取組の拡大、良食味生産につながる先進的な取組に対して補助金を交付した。																																		
	○特別栽培米団地化促進補助金 560 千円																																		
	1ha以上の団地化の取組に対して補助（5千円/ha）																																		
	・事業実施主体：京丹後市地域農業再生協議会																																		
	・取組実績：112ha×5千円=560千円																																		
	○日本一の特A米産地づくり推進事業費補助金 318 千円																																		
	良食味生産に繋がる先進的な取組（土壌分析、水稻生育診断等）に要する経費を補助																																		
	<table><tr><td>事業実施主体</td><td>事業内容</td><td>事業費</td><td>補助率</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>麻奈為米作りクラブ</td><td>葉緑素計1台 刈取適期判定器1台</td><td>228千円</td><td>2/3</td><td>151千円</td></tr><tr><td>三重農事組合</td><td>葉緑素計1台</td><td>148千円</td><td>2/3</td><td>98千円</td></tr><tr><td>延利農産グループ</td><td>積算温度計2台</td><td>25千円</td><td>2/3</td><td>16千円</td></tr><tr><td>葛野農会</td><td>積算温度計6台</td><td>80千円</td><td>2/3</td><td>53千円</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>481千円</td><td></td><td>318千円</td></tr></table>					事業実施主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額	麻奈為米作りクラブ	葉緑素計1台 刈取適期判定器1台	228千円	2/3	151千円	三重農事組合	葉緑素計1台	148千円	2/3	98千円	延利農産グループ	積算温度計2台	25千円	2/3	16千円	葛野農会	積算温度計6台	80千円	2/3	53千円	合 計		481千円		318千円
	事業実施主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額																														
	麻奈為米作りクラブ	葉緑素計1台 刈取適期判定器1台	228千円	2/3	151千円																														
三重農事組合	葉緑素計1台	148千円	2/3	98千円																															
延利農産グループ	積算温度計2台	25千円	2/3	16千円																															
葛野農会	積算温度計6台	80千円	2/3	53千円																															
合 計		481千円		318千円																															
主 な 財 源																																			
成 果 ・ 課 題	○特別栽培米の団地化助成により、同一の作付方法での集団化が促進され、特別栽培米の質の向上及び規模拡大につながった。 ○日本一の特A米の産地づくりを推進するため、京都府と連携して水稻生育診断の普及を図る必要がある。																																		
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課																																	

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	02京の水田農業総合対策事業
細 事 業 名	01 特別栽培米産地づくり事業			決算書 P.222
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
12,551千円	12,551千円	0千円	100.0%	0千円
目 的	特別栽培米等の生産に必要な農業用機械等を導入する農業者で組織する団体、農業生産法人等を支援し、安心・安全で商品価値の高い米づくりを進める。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	特別栽培米の作付面積の拡大を図るため、特別栽培米の生産に必要な農業用機械の導入に対して補助金を交付した。			
	○特別栽培米産地づくり事業補助金			12,551千円 (単位：千円)
	事業実施主体	事業内容	事業費	府補助 市補助 補助金額 備 考
	徳光地区特別栽培米組合	乾燥機・ベルトコンベア各2台・昇降機1台	3,900	40% 5% 1,755 丹後町
	大山地区特別栽培米組合	色彩選別機・粳摺機・米選機・石抜機・計量機・粗選別機一式	6,000	40% 5% 2,700 丹後町
	田村地区特裁組合	マニアスプレッター・乗用直播機・自動鉄コーティングマシン各1台	8,370	40% 5% 3,766 久美浜町
	特裁米生産受託組合	色彩選別機・計量選別機一式	2,996	40% 5% 1,347 大宮町
市場営農組合	コンバイン1台	6,631	40% 5% 2,983 久美浜町	
合 計		27,897		12,551
主 な 財 源	府補 京の米産地づくり事業費補助金 (4/10)			11,158千円
成 果 ・ 課 題	○特別栽培米用機械の整備により、刈取り作業及び出荷作業の効率化が図られ、早期出荷による有利な販売につなげることができた。 ○特別栽培米の面積の拡大には農地の団地化と営農者の組織化が重要なため、今後、集落単位での取組を広げていく必要がある。			
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課		

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	05水田農業振興費	02京の水田農業総合対策事業	
細 事 業 名	03 中山間地域特産物生産応援事業				決算書	P.222
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
1,457千円		1,499千円		42千円	97.1 %	0千円
目 的	実需者（取引先：食品事業者等）の要望する農産物を生産するため、地域営農組織等が導入する生産機器の購入費を支援することで、継続可能な農業生産体制を構築する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	地域営農組織等が、実需者からの要望品目の栽培に対応するために必要な機器等の導入に対して、補助金を交付した。					
	○需要対応型特産物生産支援事業補助金					1,457千円
	(単位：千円)					
	事業実施主体	事業内容	総事業費	府補助	市補助	補助金額 備 考
	農事組合法人 田吾作	乗用除草機 1台	2,030	50%	5%	1,116 久美浜町
	新谷営農組合	ディスクローター 1台	620	50%	5%	341 久美浜町
合 計		2,650			1,457	
主 な 財 源	府補	需要対応型特産物生産支援事業補助金（1/2）				1,325千円
成 果 ・ 課 題	水田整備機器の導入により、安定的な水稻の供給ができ、実需者の要望に合った出荷が可能となり、実需者との連携を強化し継続的な取引が確保された。					
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	07畜産業費	01畜産振興事業	
細 事 業 名	01 畜産振興事業				決算書 P.222
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
174千円	174千円	0千円	100.0 %	230千円	
目 的	安心・安全で特徴のあるこだわり畜産物の生産維持に関する取組を支援し、畜産振興を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	飼料用米保管用パレットの導入に対して補助金を交付した。				
	○畜産振興推進指導事業補助金				174千円
	・補助対象者：京丹後森本アグリ株式会社				
	・導入資材：飼料用米保管用パレット 97枚				
	・事業費：349千円				
	・補助率：1/2以内				
主 な 財 源	府補	畜産振興推進指導事業補助金（1/2以内）			174千円
成 果 ・ 課 題	○安心・安全で特徴のあるこだわり畜産物の生産維持に資する取組を支援することにより、畜産振興に寄与した。 ○今後も関係機関等の協力を得ながら指導し、畜産物の生産を継続的に支援する必要がある。				
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	07畜産業費	03畜産経営コスト低減対策事業
細事業名	01 畜産経営コスト低減対策事業（繰越）			決算書 P.224
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
3,630千円		3,630千円	0千円	100.0 % 3,630千円
目的	京都北部地域に飼料用米の受入れや保管を行う飼料用米保管施設を整備することにより、飼料用米の地産地消と生産拡大を図る。			
主要な事務・事業の概要	飼料用米の地産地消と畜産農家の需要に対応した生産拡大を実現するため、保管するための飼料用米保管施設整備に対して補助金を交付した。 ○畜産経営コスト低減対策事業補助金 3,630千円 ・事業主体：京丹後森本アグリ株式会社 ・事業内容：飼料用米倉庫 1棟 ・実施場所：大宮町森本地内 ・総事業費：10,000千円（税込） ・補助金額：3,630千円（府：3,330千円、市：300千円） ・補助率：36.3%以内（府：1/3以内、市：3%以内）			
主な財源	府補 畜産経営コスト低減対策事業費補助金（1/3以内）			3,330千円
成果・課題	京都北部地域に飼料用米保管施設が整備されたことにより、飼料用米の地産地消や生産拡大につながる環境整備ができた。			
事業所管課	農林水産部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	07畜産業費	50畜産振興一般経費
細事業名	01 畜産振興一般経費			決算書 P.224
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
45千円		46千円	1千円	97.8 % 46千円
目的	円滑な畜産行政事務及び畜産振興の推進を図る。			
主要な事務・事業の概要	飼育状況調査の実施と家畜防疫に必要な事務を実施した。 ○畜産振興の推進に係る経費 15千円 ・職員旅費、消耗品費 ○京都府畜産振興協会会費 30千円			
主な財源	府委 家畜伝染病予防事務委託金			4千円
成果・課題	円滑な畜産行政事務及び畜産振興の推進が図れた。			
事業所管課	農林水産部／農政課			

予算科目	06農林水産業費		01農業費	08農業関連施設費	01アグリセンター-管理運営事業																						
細事業名	01 アグリセンター-管理運営事業				決算書	P.224																					
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																									
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興																									
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																					
8,155千円		8,354千円		199千円	97.6 %	7,513千円																					
目的	アグリセンター大宮の維持管理及び運営を行い、市内の農業関係者や農村地域のリーダー育成及び市民福祉の向上に寄与する。																										
主要な事務・事業の概要	市内の農業関係者の知識・技術習得及び農村地域のリーダー人材育成に係る研修や講演の会場として、更に教育・福祉・産業に関する各種会議への活用により、地域農林業の振興と地域福祉の増進を図れるよう、施設の維持管理を行った。																										
	・需用費		4,609千円																								
	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料（水道機器修繕、移動観覧席部品交換、トイレ照明器具取替、地域活性化研修室A畳張替え等）																										
	・役務費 通信運搬費、火災保険料		53千円																								
	・委託料		2,930千円																								
	施設清掃、空調設備保守点検、消防設備等保守点検、エレベーター保守点検、自動ドア保守点検、アグリセンター管理、設備保守管理、移動観覧席点検、害虫駆除、グリストラップ処理、特殊建築物・設備定期報告業務																										
	・使用料及び賃借料 テレビ受信料、清掃用具借上料		47千円																								
	(参考) 利用実績																										
	<table><tr><td>区 分</td><td>利用件数</td><td>利用人数</td></tr><tr><td>農業技術研修室</td><td>344件</td><td>2,998人</td></tr><tr><td>視聴覚教室</td><td>274件</td><td>4,651人</td></tr><tr><td>地域活性化研修室</td><td>257件</td><td>3,244人</td></tr><tr><td>多目的ホール（エントランス含む）</td><td>193件</td><td>17,692人</td></tr><tr><td>調理加工実習室</td><td>56件</td><td>1,516人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,124件</td><td>30,101人</td></tr></table>			区 分	利用件数	利用人数	農業技術研修室	344件	2,998人	視聴覚教室	274件	4,651人	地域活性化研修室	257件	3,244人	多目的ホール（エントランス含む）	193件	17,692人	調理加工実習室	56件	1,516人	合 計	1,124件	30,101人			
	区 分	利用件数	利用人数																								
農業技術研修室	344件	2,998人																									
視聴覚教室	274件	4,651人																									
地域活性化研修室	257件	3,244人																									
多目的ホール（エントランス含む）	193件	17,692人																									
調理加工実習室	56件	1,516人																									
合 計	1,124件	30,101人																									
・工事請負費 図書館内エアコン取替工事		516千円																									
主な財源	使用料	アグリセンター-使用料				1,520千円																					
成果・課題	○農林業の振興に係る研修会及び講演会の会場として活用できた。 ○農林分野だけでなく、福祉や教育など幅広い分野で施設活用ができた。 ○築後20年が経過する中で設備や機材の老朽化が目立つようになっているため、計画的な修繕を実施するなど適切な施設管理を行う必要がある。																										
事業所管課		農林水産部／農政課																									

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	08農業関連施設費	02農業関連施設管理運営事業	
細 事 業 名	01 農業関連施設管理運営事業				決算書	P.224
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額		
1,351千円	1,366千円	15千円	98.9 %	1,013千円		
目的	農業関連施設及び弥栄農家用貸付住宅等の適切な維持管理を行うことにより、農業振興を図る。					
主要な 事務・事業の 概要	農業関連施設、弥栄農家用貸付住宅（4棟）、弥栄都市農村交流施設を適切に管理したほか、これらを含む農業関連施設の火災保険に加入した。					
	○農業関連施設火災保険料（30施設）			201千円		
	○弥栄都市農村交流実践施設〔もんやこ〕			105千円		
	・維持管理経費（燃料費、光熱水費）			38千円		
	・消防設備等点検委託料			9千円		
	・浄化槽維持管理委託料			58千円		
	○弥栄農家用貸付住宅			2千円		
	・3号・4号住宅修繕（資材代）					
	○久美浜総合交流販売施設〔くみはまSANKAIKAN〕			379千円		
	・駐車場用地借上料（2,724㎡）					
	○弥栄果樹園管理棟併用休憩施設〔フルーツ王国〕			313千円		
	・屋根等改修調査設計委託					
○大宮農産物加工直売施設〔畔蔵〕			197千円			
・冷蔵ショーケース購入（1台）						
○長岡農村公園危険遊具等撤去工事			107千円			
○近畿「道の駅」連絡会会費			47千円			
主な 財源	使用料	公有財産使用料				48千円
	使用料	貸付農家住宅使用料				1,404千円
	諸収入	市有建物火災保険料負担金（神野農産物加工施設）				5千円
成果・課題	○農業関連施設及び弥栄農家用貸付住宅等の維持管理を行い、多くの使用者に適切に使用してもらうことができた。					
	○建築後年数が経過した建物もあることから、利用者に安全な施設として活用されるよう、修繕及び適切な施設管理を行う必要がある。					
事業所管課		農林水産部／農政課				

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費		08農業関連施設費		03クラインガルテン管理運営事業	
細 事 業 名	01 クラインガルテン管理運営事業						決算書	P.226
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考)当初予算額
2,801千円		2,839千円		38千円		98.6 %		3,245千円
目 的	蒲井・旭地域振興計画に基づき整備した施設の維持管理を行い、短期型から滞在型観光への転換を目指し、農村と都市との交流を図り農業振興と地域活性化に資する。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農園付宿泊施設（ラウベ）と周辺施設等の維持管理を行った。							
	・ 需用費		611千円					
	消耗品費、燃料代（除雪機・草刈機・耕運機）、印刷製本費（パンフレット）、電気代、修繕料（除雪機・水処理器等）							
	・ 役務費		83千円					
	郵送料、浄化槽法定検査料、貯水槽等保守点検手数料、ケーブルテレビ停止・再開手数料、火災保険料							
	・ 委託料		1,960千円					
ハウスクリーニング、水質検査、浄化槽維持管理、施設ごみ運搬、クラインガルテン管理運営								
・ 使用料及び賃借料		147千円						
土地借上料：3,475㎡								
〔クラインガルテン交流会の開催〕								
・ 平成28年7月20日（水）								
「蒲井旭地区ふれあい住民まつり」と同時開催								
参加者20人								
主 な 財 源	使用料	市民農園使用料						2,801千円
成 果 ・ 課 題	○主に都市部からの使用者が滞在する宿泊施設及び共用部分の維持管理を実施したほか、7月には使用者と地元住民の交流会が実施され、地域間交流を図ることができた。 ○適切な入居募集を行い、空き棟が出ないよう努める必要がある。							
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課						

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	04丹後王国「食のみやこ」支援事業	
細 事 業 名	01 丹後王国「食のみやこ」支援事業				決算書 P.226
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
28,907千円		28,911千円	4千円	99.9 %	28,911千円
目 的	丹後王国「食のみやこ」の運営及び各種イベントの開催を支援し、利用促進を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	丹後王国「食のみやこ」の運営に対して負担金を支出するとともに、関連施設の維持管理経費を支出した。				
	○丹後王国「食のみやこ」運営費負担金				28,640千円
	内 訳		金 額		
	財団運営人件費等負担分		3,300千円		
	施設維持管理費負担分		960千円		
	丹後王国「食のみやこ」運営費負担分		24,380千円		
	○火災保険料（展望台・昆虫館・売店）				14千円
	○土地借上料（臨時駐車場等：弥栄町鳥取地内） （丹後王国「食のみやこ」来園者数）				253千円
	平成24年度		109,121人		（平成26年4～11月）
	平成25年度		109,242人		
平成26年度		105,107人			
平成27年度		525,526人			
平成28年度		474,308人			
※ 平成26年12月から27年3月までは改装のため休業					
※ 平成27年4月19日から、丹後王国「食のみやこ」と名称変更し、リニューアルオープン					
主 な 財 源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金			24,000千円
成 果 ・ 課 題	○平成27年度から丹後王国「食のみやこ」としてリニューアル2年目であるが、初年度より若干入園者減となったが、2年目で100万人来園者数を記録した。 ○農商工親連携の重要な拠点施設であるため、他の施設との連携を図りながら運営され、より一層の利用促進が図られるよう支援する必要がある。				
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	04丹後王国「食のみやこ」支援事業
細 事 業 名	01 丹後王国「食のみやこ」支援事業（繰越）			決算書 P.226
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
5,184千円		5,206千円	22千円	99.5 % 5,206千円
目 的	丹後王国「食のみやこ」内の京丹後エリアに位置する丹後王国タワーについて、構造体の現状把握を行う調査を実施し、今後の利活用を検討する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	丹後王国タワーの構造体の腐食・損傷状況の現状把握を行い、構造体の安定性・安全性の調査を行った。 ○丹後王国タワー構造体調査業務委託料 5,184千円 構 造：鉄骨造 延床面積：405.4㎡ 建築年月：平成10年3月			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	丹後王国タワーの利活用を検討する上で、構造体の現状把握ができた。			
事 業 所 管 課		農林水産部／農政課		

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	09農業集落排水事業費	01集落排水事業特別会計繰出金																																																												
細 事 業 名	01 集落排水事業特別会計繰出金			決算書 P.228																																																												
総 合 計 画	計 画 項 目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備																																																														
	(旧計画項目)	18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備																																																														
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額																																																												
243,000千円		243,000千円	0千円	100.0 % 243,000千円																																																												
目 的	総務省から示される下水道事業に対する繰出基準を参考に集落排水事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。																																																															
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	一般会計から集落排水事業特別会計に対して繰出金を支出した。 [繰出金の主な内容] (単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>農業集排</th><th>漁業集排</th><th>合 計</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>起債元金償還金</td><td>37,279</td><td>0</td><td>37,279</td><td></td></tr> <tr> <td>起債利子償還金</td><td>9,396</td><td>0</td><td>9,396</td><td></td></tr> <tr> <td>分流式下水道等経費</td><td>55,130</td><td>1,320</td><td>56,450</td><td></td></tr> <tr> <td>高資本対策経費</td><td>11,827</td><td>254</td><td>12,081</td><td></td></tr> <tr> <td>児童手当</td><td>636</td><td>0</td><td>636</td><td></td></tr> <tr> <td>小 計</td><td>114,268</td><td>1,574</td><td>115,842</td><td></td></tr> <tr> <td>起債元金償還金</td><td>119,814</td><td>3,713</td><td>123,527</td><td></td></tr> <tr> <td>施設維持管理費</td><td>1,078</td><td>2,455</td><td>3,533</td><td>農排8施設、漁排1施設</td></tr> <tr> <td>建設改良費</td><td>98</td><td>0</td><td>98</td><td>公共汚水ます設置工事、マンホール改良工事</td></tr> <tr> <td>小 計</td><td>120,990</td><td>6,168</td><td>127,158</td><td></td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>235,258</td><td>7,742</td><td>243,000</td><td></td></tr> </tbody> </table>				項 目	農業集排	漁業集排	合 計	備 考	起債元金償還金	37,279	0	37,279		起債利子償還金	9,396	0	9,396		分流式下水道等経費	55,130	1,320	56,450		高資本対策経費	11,827	254	12,081		児童手当	636	0	636		小 計	114,268	1,574	115,842		起債元金償還金	119,814	3,713	123,527		施設維持管理費	1,078	2,455	3,533	農排8施設、漁排1施設	建設改良費	98	0	98	公共汚水ます設置工事、マンホール改良工事	小 計	120,990	6,168	127,158		合 計	235,258	7,742	243,000	
項 目	農業集排	漁業集排	合 計	備 考																																																												
起債元金償還金	37,279	0	37,279																																																													
起債利子償還金	9,396	0	9,396																																																													
分流式下水道等経費	55,130	1,320	56,450																																																													
高資本対策経費	11,827	254	12,081																																																													
児童手当	636	0	636																																																													
小 計	114,268	1,574	115,842																																																													
起債元金償還金	119,814	3,713	123,527																																																													
施設維持管理費	1,078	2,455	3,533	農排8施設、漁排1施設																																																												
建設改良費	98	0	98	公共汚水ます設置工事、マンホール改良工事																																																												
小 計	120,990	6,168	127,158																																																													
合 計	235,258	7,742	243,000																																																													
主 な 財 源																																																																
成 果 ・ 課 題																																																																
事 業 所 管 課		上下水道部／下水道整備課																																																														

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	01小規模基盤整備事業
細 事 業 名	01 小規模土地改良事業補助金			決算書 P.228
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
1,643千円		1,700千円	57千円	96.6 % 2,000千円
目 的	農業用水路等の老朽化が進む中、地域の維持管理の効率的な取り組みを支援し、農地、農業用施設等の改良、維持、保全及び復旧を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	各地区及び農業団体が実施した小規模な農業用施設の維持管理に対して、機械借上料、原材料費を対象に補助金を交付した。			
	・ 小規模土地改良事業補助金 1,643千円			
	補助率： 補助対象事業費の2/3			
	上限額： 補助対象事業費が原材料費又は機械経費 20万円			
	補助対象事業費が原材料費と機械経費 30万円			
	地 域	箇所数	事業費（千円）	補助金（千円）
	峰山町	2	926	508
	網野町	1	401	267
	丹後町	4	833	555
	弥栄町	1	71	48
	久美浜町	1	398	265
	合 計	9	2,629	1,643
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	補助金交付により、農業用施設等の改良、維持、保全及び復旧を支援することができた。			
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課		

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	01小規模基盤整備事業
細 事 業 名	02 小規模農業基盤整備事業			決算書 P.228
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
1,501千円		5,208千円	3,707千円	28.8 % 5,000千円
目 的	老朽化により機能が低下した土地改良施設の改修及び破損した施設の修繕を行うことにより、農業生産性の向上と農業経営の安定を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	安定した農業用水の供給を図るため、破損した取水施設及びポンプ施設の修繕を行った。また、老朽化により通水機能が低下したポンプ施設について、更新を行った。			
	○工事請負費 1,501 千円 ・尾和用水取水施設維持工事 453 千円 堆積土砂撤去・埋戻 180㎡ ・尾和用水修繕工事 321 千円 ポンプモーター撤去設置1基・ポンプモーター分解修理1基 ・上野灌漑用ポンプ更新工事 727 千円 ポンプ更新 1基			
主 な 財 源	分担金 小規模基盤整備事業分担金			219千円
成 果 ・ 課 題	○機能が低下した土地改良施設の改修及び破損した施設の修繕により、農業経営の安定と施設の保全に資することができた。 ○土地改良施設の老朽化に伴う改修要望が増えていることから、国府の補助事業を積極的に活用し、計画的な施設改修が必要である。			
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課		

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	10農地費	02国営開発農地維持管理事業	
細 事 業 名	01 国営丹後土地改良事業負担金				決算書	P.228
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
10,298千円		10,300千円		2千円	99.9 %	10,300千円
目 的	国営土地改良事業に係る受益者負担金を規定償還により国に支払う。また、国営開発農地内の市有農地に係る賦課金を丹後土地改良区に支払う。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○国営丹後土地改良事業負担金 10,215千円 平成15年度に完了した国営土地改良事業（丹後東部地区）の受益者から負担金を徴収し、規定償還により国へ償還した。					
	(千円)					
		市負担金	受益者負担金	計		
	規定償還額	0	10,215	10,215		
	計	0	10,215	10,215		
	(参考) 償還期間					
	市 負 担 金：平成24年度に完済					
	受 益 者 負 担 金：平成29年度まで					
	○丹後土地改良区賦課金 83千円 国営開発事業で整備された施設の維持管理費に充当される賦課金を丹後土地改良区に支払った。					
		町名	団地名	面積(a)	賦課金額(千円)	
	大宮町	三坂団地・大野団地	93.0	18		
	網野町	郷団地	10.0	2		
	弥栄町	芋野団地・木橋2団地	313.1	63		
	計		416.1	83		
主 な 財 源	負担金	国営農地開発事業負担金				5,414千円
	負担金	国営農地開発事業負担金滞納繰越分				4,801千円
成 果 ・ 課 題	○ 国営土地改良事業負担金を、規定償還により国に支払った。また、国営開発事業で整備された施設の維持管理が図られた。 ○滞納繰越金について、滞納者からの債務承認及び納付誓約書の取得等により、滞納解消を図っていく必要がある。					
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	03多面的機能支払交付金事業
細 事 業 名	01 多面的機能支払交付金事業			決算書 P.228
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
263,956千円	264,083千円	127千円	99.9 %	266,919千円
目 的	農地、水路等の資源を含む農村環境の保全活動、施設の長寿命化のための活動を行う農業者団体等を支援し、地域主体の保全管理等の取組の強化・拡大を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農地維持と資源向上の取組を行う120組織に対し、支援を行った。			
	○多面的機能支払交付金事業活動推進費	3,329千円		
	事業の推進及び実施状況確認事務に要する経費を支出			
	・職員手当等（時間外勤務手当、休日勤務手当）	408千円		
	・共済費（臨時職員社会保険料）	125千円		
	・賃金（臨時職員2人 賃金 10か月分）	1,324千円		
	・旅費（普通旅費）	87千円		
	・需用費（消耗品費・リース車燃料代・公用車修繕料）	783千円		
	・役務費（リース車保険）	112千円		
	・使用料及び賃借料（自動車借上料、施設使用料）	490千円		
	○負担金、補助及び交付金（多面的機能支払交付金）	260,492千円		
	農地維持活動と資源向上活動を行う組織に対し、交付金を交付			
	① 農地維持支払及び資源向上支払（共同）116組織	137,781千円		
	② 資源向上支払（長寿命化）115組織	122,711千円		
	農地維持支払…農業を支える共用設備の基礎的な保全活動を支援			
	資源向上支払（共同）…共用設備の軽微な補修等の共同作業や環境活動を支援			
	資源向上支払（長寿命化）…共用設備の補修・更新等の長寿命化の作業を支援			
(参考) 平成28年度の取組状況				
峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町
17組織	14組織	12組織	14組織	15組織
久美浜町	計			
48組織	120組織			
※ ①と②の両方の交付を受けているもの 111組織				
①又は②のどちらかの交付を受けているもの 9組織				
○償還金利子及び割引料（過年度府支出金返還金）	135千円			
協定面積の変更に伴い組織から返納された交付金を府へ返還したもの				
主 な 財 源	府補	多面的機能支払交付金	198,625千円	
	諸収入	市有自動車損害共済金	55千円	
成 果 ・ 課 題	○多面的機能支払制度が平成27年度から「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づく制度となり、更なる施設整備や環境保全の強化等の活動が展開された。 ○高齢化や人材不足により補助申請書類等の作成が困難な場合があり、農業者団体向けの申請等の事務研修の開催や個別相談の実施が必要である。また、平成30年度に活動計画期間が終了することから、組織に対して再認定に向けた支援を行う必要がある。			
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課		

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	04換地処理事業	
細 事 業 名	01 換地処理事業			決算書	P.228
総 合 計 画	計 画 項 目	2	6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
	(旧計画項目)	2	地域特性を活かした農林業の振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
903千円		907千円	4千円	99.5 %	615千円
目 的	換地処分に伴う土地分筆登記の誤りや漏れ等により、現況と公図に混乱が生じているため、その訂正を行う。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	土地家屋調査士及び司法書士に委託し、登記簿及び公図の整備を行った。 ○委託料 903千円 1) 測量委託料 境界測量により土地の境界を確定し、現況と土地台帳の不整合を地図訂正及び地積更正、土地表示登記によって解消する。 ・ 網野町新庄地区 測量委託料 281千円 ・ 峰山町五箇地区（久次工区）境界確定測量業務 292千円 2) 登記委託料 分筆登記に誤りのある土地について、訂正の登記申請に係る書類作成を行う。 ・ 丹後町徳光地区 登記委託料 330千円				
主 な 財 源					
成 果 ・ 課 題	3件の内、2件については現況と土地台帳の不整合を解消できた。1件については、登記のための申請書類の準備が整った。				
事 業 所 管 課	農林水産部／農林整備課				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	50農地一般経費	
細 事 業 名	01 農地一般経費			決算書	P.230
総 合 計 画	計 画 項 目	2	6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
	(旧計画項目)	2	地域特性を活かした農林業の振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
5,032千円		5,100千円	68千円	98.6 %	4,567千円
目 的	農業農村整備事業を円滑に推進するための施設管理・研修・支援及び京都府土地改良事業団体連合会への負担金等の一般経費。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農業農村整備事業を円滑に進めるため、必要な事務を実施するとともに、関係団体へ負担金・補助金を交付した。 ・ 賃金（臨時職員1人賃金 11か月分） 694千円 ・ 旅費（会議・職員研修等） 182千円 ・ 需用費（参考図書・コピー代・燃料費等） 770千円 ・ 役務費（自動車損害保険料） 60千円 ・ 使用料及び賃借料（図面コピー機借上料等） 983千円 ・ 備品購入費（積算用パソコン） 119千円 ・ 尾和用水路設備管理費負担金 848千円 ・ 各種大会等参加負担金（全国土地改良大会） 30千円 ・ 農道台帳管理負担金 62千円 ・ 京都府土地改良事業団体連合会賦課金 560千円 ・ 村前川防潮樋門電気代負担金 51千円 ・ 川崎川防潮樋門電気代負担金 74千円 ・ 久住営農飲雑用水施設整備事業借入償還補助金 592千円 平成9年度借入分 4,213千円 償還額 334千円 (平成34年度完了) 平成10年度借入分 3,248千円 償還額 258千円 (平成35年度完了) ・ 公課費（自動車重量税） 7千円				
主 な 財 源					
成 果 ・ 課 題	○施設管理・支援事業を行うことで、農業農村整備事業を円滑に推進することができた。 ○地元区や農家の借入金に対して補助金を交付することで、負担軽減を図ることができた。				
事 業 所 管 課	農林水産部／農林整備課				

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費		11府営土地改良事業費		01経営体育成基盤整備事業	
細 事 業 名	01 経営体育成基盤整備事業						決算書	P.230
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額
57千円		57千円		0千円		100.0 %		0千円
目 的	大宮町森本地区においてほ場整備を実施、地域農業の再編と農用地の集団化、担い手育成を総合的に推進し、農用地の効率的な利用と担い手の経営の安定を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	平成26年度の府営経営体育成基盤整備事業において、京都府が実績により精算を行った結果、地元負担金の返還が生じ、その返還を行った。 ○経営体育成基盤整備事業地元返還金 57千円 事業費 760 千円 地元負担金 760千円 × 7.5% = 57千円							
主 な 財 源	諸収入 府営土地改良事業市町村負担金返還金							57千円
成 果 ・ 課 題	平成27年度換地処分により事業完了し、大区画のほ場整備により、事業の目的である農業生産法人等への農地の集積が進められ、農作業の省力化と低コスト化が図られ生産性が向上した。							
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課						

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費		11府営土地改良事業費		03ため池等整備事業	
細 事 業 名	01 ため池等整備事業						決算書	P.230
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額
16,500千円		16,500千円		0千円		100.0 %		16,500千円
目 的	洪水時において引上げ作業が不可能な丹後町大山堰を固定堰から自動倒伏の可動堰へ更新することで、治水及び防災上の危険防止を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	府営ため池等整備事業に対して負担金を支出した。 ○ため池等整備事業負担金 16,500千円 事業費 110,000 千円 市負担金 110,000千円 × 12% = 13,200千円 地元負担金 110,000千円 × 3% = 3,300千円 [府営事業の主な実施内容] 井堰の設置、護岸、護床及び操作室の工事 堤体工 1 門 (左岸側) 護床工 257.2㎡ (左岸側) 護岸工 62.4m (左岸側) 取水工 99.6m 操作室 1 室 事業期間：平成24～29年度							
主 な 財 源	分担金	ため池等整備事業分担金						3,300千円
	市債	ため池等整備負担金事業債 (合併特例債)						12,500千円
成 果 ・ 課 題	○工事実施に向けた準備を進め、井堰本体を設置する工事に着手することができた。 ○施設の早期完成に向け、事業を進めて行く必要がある。							
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課						

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	05農業競争力強化基盤整備事業
細 事 業 名	01 農業競争力強化基盤整備事業			決算書 P.230
総 合 計 画	計 画 項 目	2	6次産業化・ブランド化で農林業を振興	
	(旧計画項目)	2	地域特性を活かした農林業の振興	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
46,659千円		46,708千円	49千円	99.8 % 30,198千円
目 的	久美浜町女布地区において、ほ場の大区画化と揚水機、用水路等の改修を実施し、営農労力の節減を図り、収益性の高い農業経営の実現を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	府営農業競争力基盤整備事業に対し、負担金を支出した。また、京都府からの委託により、換地処理事務を行った。			
	○換地処理事務に係る経費 1,150千円			
	・換地委員賃金（7人） 313 千円			
	・消耗品費（事務用品） 6 千円			
	・換地業務委託料 831 千円			
	○府営農業競争力強化基盤整備事業負担金 45,509千円			
	事業費 265,000千円			
	市負担金 265,000千円 × 10% = 26,500千円			
	地元負担金 265,000千円 × 7.5%-866千円（減免） = 19,009千円			
	※減免額は、電柱の移転補償及び文化財調査によるもの			
[府営事業の主な実施内容]				
ほ場整備の実施設計業務及び区画整理工事				
・ほ場整備 面積=6.6ha				
・事業期間 平成26年度～31年度				
主 な 財 源	分担金	農業競争力強化基盤整備事業分担金	19,009千円	
	府委	換地業務委託金	1,149千円	
	市債	農業競争力強化基盤整備負担金事業債（合併特例債）	25,100千円	
成 果 ・ 課 題	○6.6haの区画整理を実施することができた。 ○工事に係る関係調査を早い時期に完了するなど、適切な工事の着手により計画どおり工事を進めていく必要がある。			
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課		

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	11府営土地改良事業費	05農業競争力強化基盤整備事業												
細 事 業 名	02 構造改革促進事業				決算書 P.230												
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興															
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興															
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額													
20,600千円	20,603千円	3千円	99.9 %	20,601千円													
目的	基盤整備を契機として、効率的かつ安定的な農業を営む担い手を育成するとともに、担い手への質の高い農用地の利用集積を促進し、生産性の高い農業構造の実現を図る。																
主要な 事務・ 事業の 概要	農地利用集積先進地の視察研修を実施するとともに、地域の中心経営体が実施する基盤整備工事に対して補助金を交付した。																
	○女布地区調査・調整事業				600千円												
	ほ場整備に伴う担い手への農地集積に向けて、土地利用調整活動、土地利用に係る研修を行った。																
	・旅費（視察研修）				185千円												
	・消耗品費（事務用品等）				173千円												
	・通信運搬費（郵便料）				30千円												
	・先進地視察研修バス借上料				212千円												
	＜先進地視察研修＞																
	・視察日：平成29年3月4日（土）～3月5日（日）																
	・視察先：島根県出雲市（有限会社グリーンワーク）																
・参加者：14人（土地改良組合員13人、市職員1人）																	
・視察内容：農地利用集積、地域貢献型の営農等																	
○中心経営体農地集積促進事業				20,000千円													
基盤整備事業実施区域内において、効率的かつ安定的な農業を営む担い手を育成するため、地域の中心経営体への質の高い農地集積の促進を支援した。																	
<table><tr><td>実施主体</td><td>中心経営体</td><td>実績集積率</td><td>総事業費</td><td>補助金額</td><td>H28交付額</td></tr><tr><td>森本中央土地改良組合</td><td>京丹後森本アグリ(株)</td><td>81.9%</td><td>561,218千円</td><td>基盤整備事業総工事費の7.5%</td><td>20,000千円</td></tr></table>						実施主体	中心経営体	実績集積率	総事業費	補助金額	H28交付額	森本中央土地改良組合	京丹後森本アグリ(株)	81.9%	561,218千円	基盤整備事業総工事費の7.5%	20,000千円
実施主体	中心経営体	実績集積率	総事業費	補助金額	H28交付額												
森本中央土地改良組合	京丹後森本アグリ(株)	81.9%	561,218千円	基盤整備事業総工事費の7.5%	20,000千円												
※補助金を平成28年度、平成29年度の2か年度で交付																	
主な 財源	分担金	構造改革促進事業分担金（1/10）			60千円												
	府補	構造改革促進事業補助金（8/10）			480千円												
	府補	構造改革促進事業補助金（10/10）			20,000千円												
成果・ 課題	○担い手への農地集積に向けて、土地利用調整活動を行う中で、地域農業の推進体制の強化を図ることができた。																
	○担い手への農地集積を円滑に進めるため、地元住民の合意が必要となってくるとともに、ほ場整備の効果を高めるための産地形成に対する継続した支援が必要である。																
	○森本地区においては、中心経営体である京丹後森本アグリ(株)に80%以上の農地を集積することができた。																
事業所管課		農林水産部／農政課															

予 算 科 目		06農林水産業費		01農業費		12団体営土地改良事業費		02土地改良施設維持管理適正化事業																															
細 事 業 名		01 土地改良施設維持管理適正化事業						決算書	P.232																														
総 合 計 画		計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																																				
		(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興																																				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額																															
28,456千円		28,473千円		17千円		99.9 %		29,297千円																															
目 的		造成した事業資金を基に計画的に施設を整備し、老朽化した土地改良施設の適正な維持管理と農業経営の安定に資する。																																					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要		土地改良施設の適正な維持管理により、施設の長期有効利用と持続的な農業経営の安定を図るため、施設の診断指導を実施した。また、土地改良施設維持管理適正化事業加入地区の事業実施に向け、必要な資金を賦課金として京都府土地改良事業団体連合会に拠出した。 加えて、測量設計等を委託し、1地区の事業加入資料を作成した。 ○土地改良施設診断指導（12か所） 峰山町 1か所、網野町 3か所、弥栄町 1か所、丹後町 3か所、久美浜町 4か所 ○測量設計等委託料 3,478千円 牛町池（網野町浅茂川地内） ○工事請負費 21,513千円 ・浜詰灌水施設 10,011千円 管体工（φ50～φ125） L=538.6m ・俵野畑かん施設 11,502千円 管体工（φ50～φ150） L=902.3m ○土地改良施設維持管理適正化事業賦課金（5地区） 3,465千円 <table><tr><th>地区名</th><th>施設名</th><th>支払年度</th><th>工事実施年度</th><th>拠出額(千円)</th></tr><tr><td>大宮町</td><td>茂手谷池</td><td>H24～28</td><td>H26</td><td>627</td></tr><tr><td>峰山町</td><td>岡谷池</td><td>H24～28</td><td>H26</td><td>396</td></tr><tr><td>網野町</td><td>浜詰灌水施設</td><td>H25～29</td><td>H28</td><td>660</td></tr><tr><td>網野町</td><td>俵野畑かん施設</td><td>H26～30</td><td>H28</td><td>759</td></tr><tr><td>網野町</td><td>俵野畑かん施設</td><td>H28～32</td><td>H29</td><td>1,023</td></tr></table>								地区名	施設名	支払年度	工事実施年度	拠出額(千円)	大宮町	茂手谷池	H24～28	H26	627	峰山町	岡谷池	H24～28	H26	396	網野町	浜詰灌水施設	H25～29	H28	660	網野町	俵野畑かん施設	H26～30	H28	759	網野町	俵野畑かん施設	H28～32	H29	1,023
地区名	施設名	支払年度	工事実施年度	拠出額(千円)																																			
大宮町	茂手谷池	H24～28	H26	627																																			
峰山町	岡谷池	H24～28	H26	396																																			
網野町	浜詰灌水施設	H25～29	H28	660																																			
網野町	俵野畑かん施設	H26～30	H28	759																																			
網野町	俵野畑かん施設	H28～32	H29	1,023																																			
主 な 財 源		分担金 土地改良施設維持管理適正化事業分担金 1,680千円 諸収入 土地改良施設維持管理適正化事業費補助金 20,350千円																																					
成 果 ・ 課 題		○測量設計等の実施により、老朽化した施設の事業加入を行い、計画的な施設整備が可能となった。 ○適正な維持管理を目的に5年以内に整備補修を行う事業であり、計画的な施設整備のため、今後も適正化事業への加入に向けた取り組みを検討していく必要がある。																																					
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課																																					

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	06団体営調査設計事業
細 事 業 名	01 団体営調査設計事業			決算書 P.232
総 合 計 画	計 画 項 目	2	6次産業化・ブランド化で農林業を振興	
	(旧計画項目)	2	地域特性を活かした農林業の振興	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
1,922千円		1,923千円	1千円	99.9 % 0千円
目 的	ほ場の大区画化と用水路等の改修により営農労力の節減を図り、収益の高い農業経営を目指し、農村地域の再生を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	平田地区ほ場整備の事業実施に向け、ほ場整備予定区域内の地形図を作成した。 ○委託料 1,922千円 平田地区地形図作成 面積=58.0ha			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	○平田地区ほ場整備事業の実施に向けた準備を進めることができた。 ○今後も、事業採択に向け地域と協力しながら進めていく必要がある。			
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課		

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	09宇川地区農業用施設改修事業
細 事 業 名	01 宇川地区農業用施設改修事業			決算書 P.232
総 合 計 画	計 画 項 目	2	6次産業化・ブランド化で農林業を振興	
	(旧計画項目)	2	地域特性を活かした農林業の振興	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考)当初予算額
90,738千円		90,741千円	3千円	99.9 % 92,142千円
目 的	施設の老朽化により維持管理が困難な状況であるため、用水路及び取水施設の改修を行うことにより、農地の保全及び農業経営の安定を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	安定した農業用水の供給を図るため、老朽化により通水機能が低下した農業用水路の改修の測量設計及び工事を行った。また、ポンプ場として計画している土地の不動産鑑定評価及び用地買収を行った。 ○職員給与及び手当等 332 千円 ○旅費（出張旅費） 14 千円 ○消耗品（事務用品） 1 千円 ○委託料 17,488 千円 ・尾和用水取水施設用地不動産鑑定評価業務 208 千円 ・尾和用水測量業務 1,944 千円 ・尾和用水実施設計業務 15,336 千円 ○使用料及び賃借料（有料道路通行料） 32 千円 ○工事請負費 72,468 千円 ・尾和用水路改修工事 管体工（φ300） L=749.2m ○公有財産購入費（土地188㎡） 403 千円			
主 な 財 源	国補 防衛施設周辺対策事業補助金			90,738千円
成 果 ・ 課 題	○機能低下した施設の改修により、農業経営の安定と農地の保全に資することができた。 ○施設の全面的改修に向け、継続的に工事を実施する必要がある。			
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課		

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	10農村地域防災減災事業
細 事 業 名	01 農村地域防災減災事業			決算書 P.232
総 合 計 画	計 画 項 目	2	6次産業化・ブランド化で農林業を振興	
	(旧計画項目)	2	地域特性を活かした農林業の振興	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考)当初予算額
3,251千円		3,251千円	0千円	100.0 % 0千円
目 的	「ため池ハザードマップ」を作成し、地域住民の自主防災意識の向上を図るとともに、ため池の防災対策や災害時の被害軽減に役立てる。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	2地区について、ため池ハザードマップを作成した。 ○委託料 3,251 千円 ・ため池安全安心マップ作成業務 3,251 千円 大宮町善王寺地区 立臼池 峰山町菅地区 上すべ内池・下すべ内池			
主 な 財 源	府補 農村地域防災減災事業補助金			3,250千円
成 果 ・ 課 題	○地域住民のワークショップにより、ため池災害に備えての被害想定区域や避難場所等を検討することで、地域に即したため池ハザードマップを作成することができた。 ○市内のため池ハザードマップ作成のため、京都府の補助制度を活用しながら、今後も継続的に事業を実施していく必要がある。			
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課		

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	03林業労働者支援事業		
細 事 業 名	01 林業労働者支援事業				決算書	P.234
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
1,100千円		1,100千円		0千円	100.0 %	1,421千円
目 的	林業労働者の福祉の向上を図り、林業労働者の確保と地域林業の振興に寄与する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	森林組合の作業班員の雇用確保及び定着を図るため、林業労働者の共済事業加入経費に対して補助金を交付した。					
	○林業労働者新共済事業補助金					1,100千円
	(長期事業：市1/4、退職金助成・組合助成事業：府1/2、市1/2)					
	・年間就労日数が100日以上就労者に対し、長期事業、退職金助成、組合助成を行った。					
	・補助対象： 丹後地区森林組合					(単位：人、日、千円)
	区 分		就労実人数	延日数	事業費	補助金
	長期事業		18	3,958	3,246	811
	退職金助成事業		1 (団体)	4,122	186	186
	組合助成事業				103	103
	計				3,535	1,100
・補助単価： 長期事業 205円/日 退職金助成事業 45円/日 組合助成事業 25円/日						
主 な 財 源	府補	林業労働者新共済事業費補助金 (1/2)				144千円
成 果 ・ 課 題	○林業労働者の確保及び地域林業の振興に寄与できた。 ○森林の維持管理を担う森林組合の基幹的作業員の福利厚生を充実させることができた。 ○林業に従事する労働者は高齢化してきており、若年者の安定的な確保が課題である。					
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課				

予 算 科 目	06農林水産業費		02林業費		01林業総務費		06有害鳥獣対策事業	
細 事 業 名	01 有害鳥獣捕獲事業						決算書	P.234
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考)当初予算額
84,979千円		85,210千円		231千円		99.7 %		84,130千円
目的	有害鳥獣を捕獲することで、野生鳥獣による農作物被害、営農意欲の低下、生活環境の悪化及び人身への危害を未然に防止する。							
主要な事務・事業の概要	有害鳥獣を捕獲するため猟友会に業務を委託するとともに、鳥獣被害対策実施隊を編成し、広域捕獲事業、緊急捕獲対策事業（国）及びシカ捕獲強化事業（府）と一体化して取り組んだほか、狩猟免許取得の支援を行い、捕獲班員の確保を図った。また、有害鳥獣の捕獲に係る対策会議や被害確認等を行った。							
	○鳥獣被害対策実施隊活動経費						40千円	
	実施隊員報酬（隊員：9人）、費用弁償（移動に要する経費）							
	○報償費						2,505千円	
	シカ捕獲奨励金（府）（登録者・団体数64）							
	○事務経費等						371千円	
	職員出張旅費						10千円	
	マグネットシート、公用車燃料代、オイル交換、賠償金等						340千円	
	自動車保険料						13千円	
	有料道路使用料						8千円	
○有害鳥獣捕獲委託料						80,958千円		
捕獲実績		イノシシ	シカ	サル	小動物	鳥類	合計	
H28		1,824	3,271	19	227	91	5,432	
H27		2,126	4,182	28	215	273	6,824	
○京丹後市野生鳥獣被害対策協議会負担金						893千円		
○捕獲班員支援の補助金						212千円		
狩猟免許取得奨励（補助交付者：10人）1/2補助						82千円		
猟銃所持許可更新手数料（補助交付者：13人）1/2補助						110千円		
食肉不適切等個体埋設処分支援（補助交付者：1人）1/2補助						20千円		
主な財源	手数料	有害鳥獣捕獲班員証明、捕獲等参加証明手数料					6千円	
	府補	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策交付金（国庫、定額）					28,354千円	
	府補	有害鳥獣捕獲関係事業費補助金（1/2）					19,166千円	
	府補	丹後地域広域有害鳥獣捕獲事業委託料（定額）					516千円	
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）					600千円	
成果・課題	○イノシシ、シカを5,000頭以上捕獲したことやサルの個体数調整（捕獲）の進展により農作物の被害額全体では前年対比で約11.5%減少した。							
	○前年対比で捕獲班員が7人減少しており、イノシシ、シカの捕獲頭数が減少した一因と考えられる。引き続き捕獲班員の育成・確保が必要である。							
事業所管課		農林水産部／農林整備課						

予 算 科 目		06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	06有害鳥獣対策事業
細 事 業 名		02 有害鳥獣防除事業			決算書 P.234
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
7,510千円		7,619千円	109千円	98.5 %	8,340千円
目 的	サルの群れの行動圏調査や集落ぐるみの追払対策を支援し、サルによる農作物や生活環境被害、人身被害の拡大を防止する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	追払隊を編成し、市が取り組むサルの個体数調整（群れ単位の捕獲）に必要な群れの行動圏調査を実施するとともに、追払資材を集落へ支給し集落ぐるみの追払対策を支援した。				
	○需用費 201千円 追払用資材（花火、モデル銃弾） 199千円 モデル銃修繕料 2千円 ○サル追払業務委託料 7,309千円 シルバー人材センターへ委託実施（3班/1班4人体制） 委託期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日 活動時間：平日（月～金曜日）1日4時間（午前・午後各2時間） 業務内容：行動圏調査、被害状況調査、追払活動、防護柵の点検・指導 実施地域：豊栄・竹野、上宇川、下宇川の連合区単位				
主 な 財 源	市債 過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）				5,000千円
成 果 ・ 課 題	○追払対策を継続実施することにより、サルの出没頻度や集落での滞在時間の拡大防止につながった。 ○個体数調整（捕獲）の完了した地域においては、効果検証のための行動圏調査が追払隊の主たる業務となるため、班体制を含め活動計画を見直す必要がある。				
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目		06農林水産業費		02林業費		01林業総務費		06有害鳥獣対策事業																	
細 事 業 名		04 猪・鹿肉処理施設運営管理事業							決算書	P.234															
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																							
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興																							
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額																	
11,157千円		11,364千円		207千円		98.1 %		11,293千円																	
目的	捕獲したイノシシ、シカを地域資源として活用するとともに、捕獲者の個体処理労力の低減を図る。																								
主要な 事務・事業の概要	猪、鹿肉処理施設「京たんご ぼたん・もみじ比治の里」の運営委託及び施設の維持管理を行った。																								
	○施設運営費 11,157千円																								
	販売促進のための旅費 135千円																								
	真空パック他消耗品、軽トラックガソリン代、電気代 1,993千円																								
	電話通話料、浄化槽法定検査手数料、火災及び自動車保険料 335千円																								
	猪・鹿肉処理委託料 7,960千円																								
	浄化槽維持管理委託料等 613千円																								
	施設用地賃借料（583.4㎡）等 121千円																								
	参考（イノシシ、シカ処理頭数）																								
	<table><tr><td>区分</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr><tr><td>イノシシ</td><td>82頭</td><td>125頭</td><td>127頭</td></tr><tr><td>シカ</td><td>558頭</td><td>649頭</td><td>558頭</td></tr><tr><td>合計</td><td>640頭</td><td>774頭</td><td>685頭</td></tr></table>										区分	H26	H27	H28	イノシシ	82頭	125頭	127頭	シカ	558頭	649頭	558頭	合計	640頭	774頭
区分	H26	H27	H28																						
イノシシ	82頭	125頭	127頭																						
シカ	558頭	649頭	558頭																						
合計	640頭	774頭	685頭																						
主な財源	諸収入	猪・鹿肉精肉販売代金 3,460千円																							
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債） 4,600千円																							
成果・課題	○685頭のイノシシ、シカを搬入することで、有害鳥獣捕獲事業の課題となっている捕獲したイノシシ、シカの個体処理作業の負担軽減ができた。 ○搬入個体の状態によりコースなど高額商品の生産量が変動するため、販売収入が安定しない。処理作業の負担軽減を考慮しつつ、搬入個体の選別を行う必要がある。																								
事業所管課		農林水産部／農林整備課																							

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	50林業総務一般経費		
細 事 業 名	01 林業総務一般経費				決算書	P.236
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
2,793千円		2,840千円		47千円	98.3 %	3,047千円
目 的	木育等に必要な事務経費及び各種林業関連団体への負担金を支出し、森林・木材と市民が関わり合える環境づくりや林業振興の推進を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	林業振興推進業務に必要な経費及び各種林業関連団体への負担金等を支出した。					
	○旅費（全国育樹祭他）					74千円
	○消耗品費（木育材料費他）					205千円
	○公用車修繕料					73千円
	○公用車証明発行手数料					1千円
	○事務補助業務人材派遣委託料					2,261千円
	職員育児休業代替：1人 4月～3月					
	○有料道路通行料					6千円
	○負担金等 京都府林業振興会等負担金及び会費					165千円
	○京都府府有林事業造林木販売に係る分収金支払い					8千円
主 な 財 源	諸収入 京都府府有林事業収入					8千円
成 果 ・ 課 題	○事務の適切な執行により、林業振興の推進に寄与できた。 ○市内の林業関係者が連携した「木育ネットワーク」により、各種イベント及び木工教室を実施し、木材利用の普及推進及び情報交流の場を提供できた。					
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課				

予 算 科 目		06農林水産業費		02林業費		02森林整備費		01緑の公共事業					
細 事 業 名		02 森林適正整備推進事業							決算書	P.236			
総 合 計 画		計 画 項 目		2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興									
		(旧計画項目)		2 地域特性を活かした農林業の振興									
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額					
1,695千円		1,695千円		0千円		100.0 %		0千円					
目的		高齢級人工林の間伐実施を支援することにより、林木の健全な生長を促すとともに、森林の公益的機能の維持・増進を図る。											
主要な事務・事業の概要		国・府の造林補助金（森林整備費補助金）の対象とならない高齢級（36～60年生）人工林の間伐事業に対して、補助金を交付した。											
		○森林適正整備推進事業費補助金（補助率：京都府50%、市10%） 1,695千円											
		区分		実施箇所		工種		事業量		事業費		補助金	
		私有林		18か所		間伐		7.20ha		2,825千円		1,695千円	
						間伐材搬出		107㎡					
		事業実施主体：丹後地区森林組合											
		【実施箇所内訳】											
		(間伐)											
		峰山町		3か所		0.93ha		268千円					
		大宮町		7か所		1.80ha		519千円					
網野町		3か所		2.81ha		810千円							
久美浜町		5か所		1.66ha		479千円							
(間伐材搬出)													
網野町		1か所		26.0㎡		182千円							
久美浜町		1か所		81.0㎡		567千円							
主な財源		府補 緑の公共事業費補助金（1/2） 1,412千円											
成果・課題		○高齢級の人工林（私有林）の間伐実施を支援することにより、森林の適正な整備が進められた。 ○補助事業の周知を積極的に行い、間伐実施による林木の健全な生長を促すとともに、森林の公益的機能の維持増進を図っていく必要がある。											
事業所管課				農林水産部／農林整備課									

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	01緑の公共事業														
細事業名	03 放置竹林拡大防止事業			決算書 P.236														
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興																
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額														
1,086千円		1,086千円	0千円	100.0 % 1,086千円														
目的	人工林等に侵入した竹の伐採等により、森林の有する多面的機能の維持増進を図る。 また、伐採竹を資材として利用することで資源の有効活用を図る。																	
主要な 事務・事業の概要	放置竹林による森林侵食を防ぐため、森林に侵入した竹林の伐採を行うとともに、伐採竹の有効活用（竹肥、竹炭）を図るため搬出を行った。																	
	○放置竹林拡大防止工事			1,086千円														
	<table><tr><th rowspan="2">実施箇所</th><th colspan="2">事業量</th></tr><tr><th>整理伐</th><th>竹材搬出</th></tr><tr><td>大宮町三重地内</td><td>0.13ha</td><td>646本</td></tr><tr><td>丹後町鞍内地内</td><td>0.17ha</td><td>676本</td></tr><tr><td>計</td><td>0.30ha</td><td>1,322本</td></tr></table>				実施箇所	事業量		整理伐	竹材搬出	大宮町三重地内	0.13ha	646本	丹後町鞍内地内	0.17ha	676本	計	0.30ha	1,322本
実施箇所	事業量																	
	整理伐	竹材搬出																
大宮町三重地内	0.13ha	646本																
丹後町鞍内地内	0.17ha	676本																
計	0.30ha	1,322本																
主な財源	府補 緑の公共事業費補助金（1/2）			541千円														
成果・課題	○竹による森林侵食を防止するとともに、伐採竹の資源としての有効活用（竹肥、竹炭）が図れた。 ○伐採跡地の適正かつ継続的な管理が課題である。																	
事業所管課		農林水産部／農林整備課																

予算科目	06農林水産業費		02林業費		02森林整備費		02松くい虫防除事業	
細事業名	01 松くい虫防除事業						決算書	P.236
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興						
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)		執行率		(参考) 当初予算額
6,623千円		6,646千円		23千円		99.6 %		8,307千円
目的	海岸松林を松くい虫被害から守り、海岸沿い防風林等の機能確保及び風致景観等の保全を図る。							
主要な 事業・ 事業の 概要	海岸沿いの防風林（網野町、丹後町、久美浜町）の機能確保及び風致景観等の保全を図るため、無人ヘリコプターによる薬剤散布、樹幹注入、当年枯れの松の焼却駆除を行った。また、海岸松林の被害状況及び樹幹注入保全対象松を把握するため毎木調査を実施した。							
	・消耗品費（樹幹注入表示板：300枚）						9千円	
	・松くい虫被害木毎木調査委託料						135千円	
	委託先		事業実施箇所		本数			
	丹後地区森林組合		網野町浜詰地内他		358本			
	・樹幹注入毎木調査委託料						86千円	
	委託先		事業実施箇所		本数			
	丹後地区森林組合		網野町掛津地内他		249本			
	・松くい虫防除事業委託料（奨励・春期：無人ヘリ）						1,598千円	
	委託先		事業実施箇所		面積			
	丹後地区森林組合		網野町掛津地内他		14.0ha			
	・松くい虫防除事業委託料（松林健全化促進事業・秋期：樹幹注入）						2,900千円	
委託先		事業実施箇所		本数		薬剤本数		
丹後地区森林組合		網野町掛津地内他		190本		970本		
・松くい虫防除事業委託料（単費・秋期：樹幹注入）						1,115千円		
委託先		事業実施箇所		本数		薬剤本数		
丹後地区森林組合		丹後町竹野地内他		59本		373本		
・松くい虫防除事業委託料（奨励・秋期：特別伐倒駆除）						780千円		
委託先		事業実施箇所		本数		材積		
丹後地区森林組合		網野町浜詰地内他		358本		22.4㎡		
※府補助率：（奨励・松林健全化促進事業：3/4以内、単費：1/2以内）								
主な財源	府補 松くい虫駆除防除事業補助金							4,514千円
成果・課題	○予防作業として無人ヘリコプターによる薬剤散布や樹幹注入を行うなど、松くい虫被害の蔓延防止ができた。 ○今後も異常気象により広範囲にわたって大きな被害が出ることが懸念されるため、松くい虫被害木の適切な処理を行っていく必要がある。							
事業所管課		農林水産部／農林整備課						

予 算 科 目	06農林水産業費		02林業費		02森林整備費		03森林整備事業	
細 事 業 名	01 森林施業路開設事業						決算書	P.236
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率	(参考) 当初予算額	
6,303千円		6,304千円		1千円		99.9 %	2,000千円	
目 的	作業道開設に対する国・府森林整備事業への上乗せ補助を行い、森林所有者の負担軽減を図り、健全な森林の造成、多面的機能の増進、森林の有効利用を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	森林組合が森林所有者から受託して実施する作業道の開設に対し、補助金を交付した。							
	○森林施業路開設補助金						6,303千円	
	※補助率：国、京都府の森林整備事業における査定経費の50%以内							
	森林環境保全直接支援事業						(単位：m、千円)	
	実施箇所	路線名	延長	幅員	事業費	補助金		
	久美浜町佐野地内	牛谷愛宕線 他12路線	4,555	2.5	30,226	4,743		
	計		4,555		30,226	4,743		
	事業実施主体：丹後地区森林組合							
	森林施業省力化促進事業						(単位：m、千円)	
	実施箇所	路線名	延長	幅員	事業費	補助金		
網野町木津地内他	熊谷線2 他2路線	1,327	2.5	3,120	1,560			
計		1,327		3,120	1,560			
事業実施主体：丹後地区森林組合								
主 な 財 源								
成 果 ・ 課 題	○森林施業路開設を希望する受益者の負担軽減を図りながら、間伐等の施業が推進できた。 ○施業路の開設場所により開設費や維持管理費、間伐作業に要する費用が変わってくる。効率的・計画的な施業路開設と効率的な間伐作業のため、当初計画時に現場の状況を確実に調査し、施業路の開設箇所を適切に選定する必要がある。							
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課						

予 算 科 目	06農林水産業費		02林業費	02森林整備費	03森林整備事業	
細 事 業 名	02 間伐施業事業				決算書	P.236
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
4,367千円		4,367千円		0千円	100.0 %	2,500千円
目 的	間伐等に対する国・府森林整備事業への上乗せ補助を行い、森林所有者の負担軽減を図り、森林整備の促進と豊かな自然環境の保全を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	森林組合が森林所有者から受託して実施する間伐等に対し補助金を交付した。					
	○間伐施業事業補助金 4,367千円 ※補助率：国、京都府の森林整備事業における査定経費の20%以内					
	森林環境保全直接支援事業 (単位：ha、千円)					
	実施箇所	面積	事業費	補助金		
	久美浜町金谷地内	25.84	15,337	2,620		
久美浜町佐野地内	24.26	14,615	1,747			
計	50.10	29,952	4,367			
事業実施主体：丹後地区森林組合						
主 な 財 源						
成 果 ・ 課 題	○間伐等の促進により健全な森林の造成、多面的機能の増進に寄与した。 ○木材価格の低迷により、林業の採算性が低下している中、山の手入れをしない森林所有者が多くなっている。効率的・計画的な施業路の設定など、間伐作業等が効率的に行えるよう努め、森林所有者の負担軽減を図り、間伐等を促進する必要がある。					
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課				

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	03森林整備事業
細 事 業 名	04 災害に強い森づくり事業（緑越）			決算書 P.238
総 合 計 画	計 画 項 目	2	6次産業化・ブランド化で農林業を振興	
	(旧計画項目)	2	地域特性を活かした農林業の振興	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
14,962千円		17,624千円	2,662千円	84.8 % 17,624千円
目 的	台風・豪雨等により荒廃した森林及び溪流において、土砂・流木等の流出による二次災害を防止するため、治山施設等を整備し災害に強い森の整備を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	台風・豪雨災害において、溪岸侵食による土砂流出があった荒廃溪流に治山ダムを設置することにより、土砂流出防止を図った。 ○実施場所：丹後町徳光地内 ・消耗品費 18 千円 ・燃料費 15 千円 ・工事請負費 14,929 千円 治山ダム 1基 流路工L=30.95m			
主 な 財 源	府委 災害に強い森づくり事業実施委託金			14,590千円
成 果 ・ 課 題	治山施設の機能回復により、下流域の住宅等の安全が確保できた。			
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課		

予 算 科 目	06農林水産業費		02林業費		02森林整備費		04森林総合研究所分収造林事業	
細 事 業 名	01 森林総合研究所分収造林事業						決算書	P.238
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額
700千円		702千円		2千円		99.7 %		0千円
目 的	国立研究開発法人森林総合研究所分収林事業（布袋野団地）において、平成28年度事業による造林木の販売に係る分収金を覚書に基づき地元区に支払うもの。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	市（土地所有者）、国立研究開発法人森林総合研究所（造林費負担者）及び丹後地区森林組合（造林者）の3者で契約している造林地の保育施業に伴い、発生した造林木販売分収金（売払収益）を地元（実質土地所有者）へ補償金として支出した。							
	○補償金（伐採造林木販売分収金）						700千円	
	・分収造林契約における分収割合							
	森林総合研究所 40% 丹後地区森林組合 10% 京丹後市 50%							
	[販売数量等]							
番号	樹種	素材数 (本)	素材材積 (㎡)	収益分収対象 額 (円)	補償金額 (円)	備考		
1	スギ・ヒノキ	1,944	292.846	1,228,232	614,116	素材販売		
2	ヒノキ	647	34.592	172,514	86,257	素材販売		
計				1,400,746	700,373			
*覚書により、市が受けた収益は全額地元へ引き渡す。								
主 な 財 源	諸収入 森林総合研究所分収造林事業収入						700千円	
成 果 ・ 課 題	適切な事業の実施により、山林の財産形成及び保安林機能の確保につながった。							
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課						

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	05市行造林事業															
細 事 業 名	01 市行造林事業				決算書	P.238													
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																	
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興																	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額													
7,181千円		7,216千円		35千円	99.5 %	9,500千円													
目 的	計画的な保育施業を実施し、市行造林地内における植栽木の財産造成と森林機能の確保を図る。																		
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	市行造林契約地において、分収契約に基づき、計画的に保育施業を実施した。																		
	○市行造林地現況調査委託料					1,966千円													
	今後の施業の参考にするため、造林地における植林木の生育状況等の現況調査を実施した。																		
	現況調査：網野町地内他 109箇所																		
	<table><tr><td>町名</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>久美浜町</td><td>計</td></tr><tr><td>調査箇所数</td><td>23</td><td>24</td><td>52</td><td>109</td></tr></table>						町名	網野町	丹後町	久美浜町	計	調査箇所数	23	24	52	109			
	町名	網野町	丹後町	久美浜町	計														
	調査箇所数	23	24	52	109														
	○保育施業工事					5,215千円													
	植林木の生長を促進させるため、間伐や除伐等を行った。また、間伐材の有効利用のため、作業路を開設して間伐材の搬出を行った。																		
	<table><tr><td>工 種</td><td>施業地</td><td>事業量</td><td>金 額</td></tr><tr><td>保育間伐・枝打ち</td><td>網野町木津</td><td>1.95ha</td><td>669千円</td></tr><tr><td>間伐・作業路開設</td><td rowspan="2">久美浜町坂谷</td><td>4.72ha/945m</td><td rowspan="2">4,546千円</td></tr><tr><td>間伐材搬出</td><td>79.76m3/57.8 t</td></tr></table>						工 種	施業地	事業量	金 額	保育間伐・枝打ち	網野町木津	1.95ha	669千円	間伐・作業路開設	久美浜町坂谷	4.72ha/945m	4,546千円	間伐材搬出
工 種	施業地	事業量	金 額																
保育間伐・枝打ち	網野町木津	1.95ha	669千円																
間伐・作業路開設	久美浜町坂谷	4.72ha/945m	4,546千円																
間伐材搬出		79.76m3/57.8 t																	
主 な 財 源	府補 森林整備補助金					3,667千円													
成 果 ・ 課 題	○造林地の保育施業を計画的に行うことにより、植林木の生長を促進し、財産価値を確保するとともに、地球温暖化防止など、森林の多面的機能の確保に寄与した。																		
	○木質バイオマス供給施設の稼働に伴い、今日まで林内に放置してきた未利用材を搬出することにより資源の有効活用につながった。																		
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課																	

予 算 科 目		06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	06林道整備事業														
細 事 業 名		01 小規模林道整備事業補助金				決算書	P.238												
総 合 計 画		計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																
		(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興																
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額													
1,100千円		1,100千円		0千円	100.0 %	1,100千円													
目 的	地元営小規模林道整備事業に係る機械借上費、原材料費について支援を行い、林道の適正な維持管理・保全を図る。																		
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	各地区が実施する林道の小規模な整備事業（維持管理及び保全）に係る機械借上費や原材料費に対して補助金を交付した。																		
	○小規模林道整備事業支援補助金				1,100 千円														
	補助率：補助対象事業費の10/10																		
	(上限：原材料又は機械経費のみの場合200千円、 原材料及び機械経費を含む場合300千円)																		
	<table><tr><td>区分</td><td>箇所数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td>1</td><td>200千円</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>6</td><td>900千円</td></tr><tr><td>合計</td><td>7</td><td>1,100千円</td></tr></table>							区分	箇所数	補助金額	弥栄町	1	200千円	久美浜町	6	900千円	合計	7	1,100千円
	区分	箇所数	補助金額																
弥栄町	1	200千円																	
久美浜町	6	900千円																	
合計	7	1,100千円																	
主 な 財 源																			
成 果 ・ 課 題	○地元自治会が行う林道等の整備に対して、資材等を支援することで、早期に現状回復が図られ林道の適正な維持管理と保全ができた。																		
	○高齢化の進行により将来的に林道の適正な維持管理が困難になることが予想されることから、今後の対策を検討する必要がある。																		
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課																	

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	06林道整備事業	
細 事 業 名	02 林道等整備事業				決算書 P.238
総 合 計 画	計 画 項 目	2	6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
	(旧計画項目)	2	地域特性を活かした農林業の振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
32,553千円	32,584千円	31千円	99.9 %	37,043千円	
目 的	森林機能の確保と森林資源の活用保全に資する森林内作業を容易にするため、林道の適切な維持管理を行う。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	森林の活用と保全のために必要な林道等の適正な維持管理（草刈、修繕）及び損傷箇所の改良工事を実施した。				
	○消耗品費（製図支援ソフトバージョンアップソフト）			32千円	
	○修繕料 林道（ミソン谷線他4件）修繕			1,198千円	
	○委託料 公共土木積算システム保守管理 丹後縦貫林道維持管理業務 （大鼓山線、大内線、成相線、奥寄線）			8,897千円 845千円 8,052千円	
	○工事請負費 丹後縦貫林道大鼓山線林道改良工事 補強土壁工 面積=207㎡ 舗装工 面積=491.3㎡			22,426千円	
主 な 財 源	府補	農山漁村地域整備交付金	12,334千円		
	負担金	丹後縦貫林道維持管理負担金	1,717千円		
成 果 ・ 課 題	森林整備を行うために必要な林道の適正な維持管理及び改良工事を行い、民有林等の森林整備の実施に寄与するとともに、通行車両等の安全を確保することができた。				
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	07小規模治山事業	
細 事 業 名	01 小規模治山事業				決算書 P.238
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
	(旧計画項目)	12 地域ぐるみによる消防・防災体制の充実			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
259千円		259千円	0千円	100.0 %	0千円
目 的	人家への被害未然防止のための立木除去を行い、林地の保全及び地域防災に資する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	倒壊した立木の除去を行う事業に対し、補助金を交付した。				
	○要適正管理森林等災害予防事業補助金				259千円
	実施箇所：大宮町口大野地内				
	事業内容：立木除去 補助率：1/2以内				
主 な 財 源	府補	要適正管理森林等災害予防事業補助金			259千円
成 果 ・ 課 題	林地に近接する住家及び公共施設等の災害防止に寄与し、安心・安全が確保できた。				
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	08豊かな森を育てる事業
細 事 業 名	01 豊かな森を育てる事業			決算書 P.238
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考)当初予算額
7,648千円		7,649千円	1千円	99.9 % 0千円
目 的	「京都府豊かな森を育てる府民税」を財源とした交付金を活用し、森林の公益的機能の維持増進を図るとともに、国産材の積極的な利用を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	森林整備を進めることと合わせ、木材の利用促進につながる事業に対し補助金を交付した。			
	○豊かな森を育てる事業補助金			7,648千円
	・ 間伐材搬出補助（補助率3/5、上限3千円/ t）			7,473千円
	実施箇所	搬出量	事業費	補助金額
	網野町木津	2,118 t	12,055,000円	6,354,000円
	久美浜町佐野	373 t	2,194,690円	1,119,000円
	合計	2,491 t	14,249,690円	7,473,000円
	・ 教育・研修活動補助（補助率10/10、上限50千円）			150千円
	事業内容	事業費	補助金額	
	木製ミニチュアハウスの導入	55,000円	50,000円	
木製遊具製作	62,554円	50,000円		
木製ブロック、ウッドカーペットの導入	52,000円	50,000円		
合計	169,554円	150,000円		
・ 森資源循環事業（補助率1/2、上限100千円）			25千円	
事業内容	事業費	補助金額		
炭製品及び樹木の加工品等の展示・販売	50,182円	25,091円		
主 な 財 源	府補	豊かな森を育てる府民税市町村交付金	7,648千円	
成 果 ・ 課 題	○間伐材の搬出経費への支援により、森林内に放置されていた不良材・造材端材が森林内から搬出され、大雨等による流出（災害）を防止することに加え、木質バイオマス利用等に有効活用された。 ○保育所・こども園に木製遊具等が導入され、子どもたちに木の良さを知ってもらい、木や森への親しみを深めてもらう機会を増やすことができた。			
事 業 所 管 課		農林水産部／農林整備課		

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	08豊かな森を育てる事業	
細 事 業 名	02 豊かな森を育てる基金				決算書 P.238
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
	(旧計画項目)	2 地域特性を活かした農林業の振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
1,664千円	1,664千円	0千円	100.0 %	0千円	
目 的	豊かな森を育てる府民税市町村交付金の残余金を翌年度以降に活用することを目的とした豊かな森を育てる基金への積立金				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○豊かな森を育てる基金積立金 1,664千円				
	府民税市町村交付金① (府支出金)		事業財源充当額②		差引額 (①-②) (基金積立額)
	9,312,000円		7,648,091円		1,663,909円
主 な 財 源	府補 豊かな森を育てる府民税市町村交付金				1,664千円
成 果 ・ 課 題					
事 業 所 管 課	財務部／財政課				

予 算 科 目	06農林水産業費		03水産業費		01水産業総務費		50水産業総務一般経費	
細 事 業 名	01 水産業総務一般経費						決算書	P.240
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興						
	(旧計画項目)	3 つくり育てる漁業・海業の振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考)当初予算額
1,213千円		6,412千円		5,199千円		18.9 %		1,513千円
目 的	施設等の適切な維持管理の実施と水産関係団体の活動を支援することにより、水産業業務の円滑な推進及び水産振興を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	水産業業務を円滑に推進するために必要な施設・公用車等の維持管理経費及び水産関係団体への負担金・補助金を支出した。							
	○旅費							62千円
	・会議等職員旅費							
	○需用費							773千円
	・事務消耗品代、公用車燃料代、公用車車検・修繕料							416千円
	・久美浜栽培漁業センター光熱水費							357千円
	○役務費							108千円
	・公用車車検代行手数料、タイヤ交換手数料ほか							25千円
	・公用車自賠責保険料、建物共済・公用車共済分担金							83千円
	○委託料							11千円
	・久美浜栽培漁業センター消防設備保守点検業務							
	○負担金、補助及び交付金							251千円
	・京都府海の民学舎負担金							150千円
	・京都府漁港漁場協会負担金							71千円
	・京都府漁業士会補助金							30千円
○公課費							8千円	
・公用車重量税								
		参考	繰越明許費を除いた最終予算額				1,513千円	
			実質的な執行率				80.2%	
■平成29年度への繰越事業								
・旭漁港アワビ養殖施設撤去工事 平成29年6月完成 4,899千円								
主 な 財 源								
成 果 ・ 課 題	○施設や公用車を適切に維持管理することで、水産業業務の円滑な推進が図られた。 ○「海の民学舎」の運営をはじめ、水産関係団体の活動を支援することで、新規漁業就業者や中核的担い手の育成事業、要望・研修活動等が活発に展開され、漁業振興に寄与することができた。 ○公共施設見直し計画に基づき、久美浜栽培漁業センターの移譲について関係団体と協議を継続していく。							
事 業 所 管 課		農林水産部／海業水産課						

予 算 科 目	06農林水産業費 03水産業費 02水産業振興費 01内水面漁業振興支援事業				
細 事 業 名	01 内水面漁業振興支援事業			決算書 P.240	
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興			
	(旧計画項目)	3 つくり育てる漁業・海業の振興			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考)当初予算額	
1,144千円		1,144千円	0千円	100.0 % 1,147千円	
目 的	内水面漁業協同組合が実施する種苗放流事業を継続的に支援し、河川等の水産資源の増殖・確保により、内水面漁業の振興を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	野間川、宇川及び離湖における自然環境の保全と水産資源の増殖・確保を目的とした種苗放流事業に要する種苗購入費に対して補助金を交付した。				
	○河川種苗放流事業補助金（補助対象事業費の2/3以内の額） 1,144千円				
	実施団体	野間漁業協同組合	上宇川漁業協同組合	京都府漁業協同組合 網野支所	
	放流場所	野間川	宇 川	離 湖	
	補助対象事業費	1,544千円	544千円	127千円	
	補助金	783千円	286千円	75千円	
	放 流 魚 種	アユ	29,900尾	17,000尾	—
		ウナギ	400尾	—	200尾
		マス類	5,000尾	—	—
		フナ	—	—	750尾
組合員数	68人	45人	内水面のみ 54人		
主 な 財 源	府補 内水面漁業振興対策事業費補助金（1/3以内）			463千円	
成 果 ・ 課 題	○種苗放流事業の継続的支援により、自然環境の保全と河川資源の維持・増殖が図られ、水辺のレジャーの振興及び漁業活動の安定に寄与できた。 ○漁業協同組合員の減少と高齢化が進行しており、魚道を含む河川の漁場管理が困難になってきているため、組合員と地域住民等が連携して漁場環境保全・修復や資源増殖に取り組む体制づくりが必要である。				
事 業 所 管 課		農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費		03水産業費	02水産業振興費	02漁業振興支援事業
細 事 業 名	01 漁業振興支援事業				決算書 P.240
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興			
	(旧計画項目)	3 つくり育てる漁業・海業の振興			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
1,688千円		60,005千円	58,317千円	2.8 %	1,523千円
目 的	水産資源の増殖・確保のための種苗放流及びヒラメの中間育成並びに漁獲物の高鮮度化のための自動製氷施設の導入を支援し、漁業者の経営安定と所得向上を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	府漁協が実施するアワビ・サザエ等の種苗放流事業及びヒラメの中間育成事業に対して補助金を交付した。また、漁業者の製氷購入経費の低減と産地魚価の向上を目的に行う自動製氷・貯氷施設の整備（浜詰・湊地区）に対して補助金を交付した。				
	○種苗放流事業補助金（補助対象事業費の1/2以内の額）				1,344千円
	実施団体		府漁協丹後支所	府漁協網野支所	府漁協湊支所
	放流場所		日本海	日本海	日本海・久美浜湾
	補助対象事業費		613千円	789千円	1,483千円
	補助金		285千円	318千円	741千円
	放 流 魚 貝 種	アワビ	12,900個	9,300個	—
		サザエ	14,800個	27,300個	50,100個
		クロダイ	—	—	10,000尾
		ハマグリ	—	—	450kg
	○中間育成事業（ヒラメ）補助金（補助対象事業費の2/3以内の額）				128千円
	実施団体		府漁協湊支所	補助対象事業費	193千円
	実施場所		久美浜栽培漁業センター	補助金	128千円
	放流場所		久美浜湾	対象魚種	ヒラメ 6,000尾
	○水産業競争力強化緊急施設整備事業費補助金				216千円
	・府漁協が行う自動製氷・貯氷施設整備に対する補助金（実施設計分）				
	※補助率：54%（国50%、京都府4%）				
	参考		繰越明許費を除いた最終予算額		1,739千円
			実質的な執行率		97.1%
	■平成29年度への繰越事業				
	・水産業競争力強化緊急施設整備事業費補助金（施設整備分） 58,266千円				
	平成29年10月完了予定				
主 な 財 源	府補 沿岸漁業構造改善対策事業費補助金（54%）				216千円
成 果 ・ 課 題	○種苗放流事業及び中間育成（ヒラメ）事業を継続的に実施することで、安定した漁業生産活動の確保に寄与できた。 ○久美浜栽培漁業センターの管理・運営について、漁業関係団体等と協議する必要がある。				
事 業 所 管 課		農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費		03水産業費		02水産業振興費		03海業推進事業	
細 事 業 名	01 海業推進事業						決算書	P.242
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興						
	(旧計画項目)	3 つくり育てる漁業・海業の振興						
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考)当初予算額	
882千円	892千円		10千円		98.8 %		892千円	
目 的	海業推進事業計画に基づき、農商工観連携による海業の取組を推進・支援し、地元水産物の消費拡大や販売促進、漁村地域の活性化を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○旅費							10千円
	・ 会議等職員旅費							
	○需用費（小学生お魚料理教室開催経費）							142千円
	・ 食材等消耗品他							
	開催期間 平成28年5月～9月							
	参加校数 13校（実施回数：11回）							
	参加児童数 小学5年生228人							
	○負担金、補助及び交付金							730千円
	・ ふるさと海づくり大会負担金（実施団体：同実行委員会） 100千円							
	平成28年8月7日（日）、舞鶴市「しおじプラザ」周辺で開催							
	来場者数：約3,000人							
	・ 久美浜力キ・魚まつり補助金（実施団体：同実行委員会） 430千円							
	平成28年12月4日（日）、府漁協湊支所周辺で開催							
	来場者数：約10,000人							
	・ 海業振興事業補助金（1団体1件）							200千円
	団 体 名		事 業 内 容			補助対象事業費		補助金額
	蒲井・旭活性化協議会		力キ消費拡大事業（力キ小屋設備等整備、広告宣伝活動、利用者満足度調査他）			356千円		200千円
※補助率：補助対象経費の2/3以内の額（上限200千円）								
主 な 財 源								
成 果 ・ 課 題	○「お魚料理教室」の開催により、子どもの地元水産物に対する関心を高め、魚食普及を図ることができた。 ○水産関連イベントの開催支援により、域内外への地元水産物のPRができた。 ○海業に関する漁業者等の活動を支援し、漁村振興や地域産業の活性化に寄与できた。 ○漁業所得の向上、担い手の確保・育成につながる取組とするため、商業や観光、教育分野等との連携を深め、6次産業化に向けた仕組みづくりと推進体制整備が必要である。							
事 業 所 管 課		農林水産部／海業水産課						

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	06利子補給助成事業	
細 事 業 名	01 利子補給助成事業			決算書	P.242
綜 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興			
	(旧計画項目)	3 つくり育てる漁業・海業の振興			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
65千円		67千円	2千円	97.0 %	67千円
目 的	漁業者等が借り入れた漁業近代化資金に対する支払利子の一部を助成することにより、漁業等を営む者の資金調達を円滑化し、経営の安定化と成長の促進を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	漁業者が借り入れた漁業近代化資金に対し、支払利子の一部を助成した。 ○漁業近代化資金利子補給金 65千円 ・漁業近代化一般融資分 個人漁業者 2件				
主 な 財 源					
成 果 ・ 課 題	漁業者が借り入れた漁業近代化資金に対して利子補給を行うことで、漁業者の投資負担の軽減による設備の高度化が図られた。				
事 業 所 管 課		農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	01 漁港維持管理事業	
細 事 業 名	01 漁港維持管理事業			決算書	P.242
綜 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興			
	(旧計画項目)	3 つくり育てる漁業・海業の振興			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
1,812千円		1,877千円	65千円	96.5 %	1,877千円
目 的	老朽化等により劣化した漁港施設の維持補修及び管理を行い、漁業者の安心・安全な漁業活動を確保する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	漁船の安全な航行に必要な漁港標識灯の修繕や、漁業活動に支障が生じている漁港施設の維持修繕を実施した。また、浅茂川漁港環境施設用地の維持管理と間人漁港の指向灯の点検業務を実施した。 ○需用費（修繕料） 1,474千円 ・此代船揚場斜路修繕 122千円 ・防犯カメラボックス補修 16千円 ・旭漁港・蒲井漁港野積場用地修繕 17千円 ・旭漁港臨港道路修繕 227千円 ・砂方漁港標識灯修繕 446千円 ・浅茂川漁港車止め修繕 49千円 ・中浜漁港防犯カメラ告知板補修 47千円 ・浅茂川漁港西第二防波堤標識灯修繕 205千円 ・遊漁港滑り材修繕 108千円 ・袖志漁港滑り材修繕 237千円 ○委託料 338千円 ・漁港区域管理（浅茂川漁港区域内草刈等業務） 122千円 ・間人漁港指向灯保守点検業務 216千円				
主 な 財 源					
成 果 ・ 課 題	○漁港施設の維持修繕の実施により、漁業者の安心・安全な漁業活動が維持できた。 ○漁港内の安全性の確保及び漁業活動を維持するため、必要性・緊急性を考慮しながら維持管理を実施する必要がある。				
事 業 所 管 課		農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	01漁港維持管理事業	
細 事 業 名	01 漁港維持管理事業（繰越）			決算書	P.242
総 合 計 画	計 画 項 目	3	「海業」とつくり育てる漁業の振興		
	(旧計画項目)	3	つくり育てる漁業・海業の振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
2,006千円		2,133千円	127千円	94.0 %	2,133千円
目 的	老朽化等により劣化した漁港施設の維持補修及び管理を行い、漁業者の安心・安全な漁業活動を確保する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	漁港施設の安全点検で発見された塩害による腐食及び老朽化が著しい箇所について、改修・修繕を実施した。 ○需用費（修繕料）602千円 ・小間漁港転落防護柵修繕（2件）383千円 ・間人漁港環境整備施設公共柵蓋修繕219千円 ○工事請負費1,404千円 ・間人漁港環境整備施設公共柵転落防止柵修繕572千円 ・間人漁港環境整備施設親水公園転落防止柵修繕832千円				
主 な 財 源					
成 果 ・ 課 題	○維持修繕の実施により、安心・安全、快適な漁港施設が維持できた。 ○漁港内の安全性の確保及び漁業活動を維持するため、必要性・緊急性を考慮しながら維持管理を実施する必要がある。				
事 業 所 管 課		農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	02漁港整備事業	
細 事 業 名	01 漁港整備事業				決算書 P.242
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興			
	(旧計画項目)	3 つくり育てる漁業・海業の振興			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
3,186千円		3,186千円	0千円	100.0 %	12,400千円
目 的	漁港施設をより効果的に利用するための整備を行い、安心・安全で効率的な漁業活動を確保する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	漁業活動の効率を上げるとともに漁業者の安心・安全な作業環境の整備を図るため、砂方漁港の船揚場等の改修工事を実施した。				
	○工事請負費 ・砂方漁港船揚場斜路修繕工事 コンクリート舗装（220㎡）				3,186千円
主 な 財 源	分担金 市債	漁港整備事業分担金（5%） 漁港施設整備事業債（合併特例債）			159千円 2,800千円
成 果 ・ 課 題	○漁業活動に必要なとなる漁港施設の整備により、漁業者が安心・安全で効率的な漁業活動を営むことができた。 ○市の管理漁港内における土砂等の堆積を防ぐため、計画的な浚渫工事を実施する必要がある。				
事 業 所 管 課		農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目		06農林水産業費		03水産業費		03漁港管理費		03水産基盤ストックマシ ント事業					
細 事 業 名								01 水産基盤ストックマシ ント事業		決算書		P.242	
総 合 計 画		計 画 項 目		3		「海業」とつくり育てる漁業の振興							
		(旧計画項目)		3		つくり育てる漁業・海業の振興							
決 算 額 ①				最 終 予 算 額 ②				不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額	
6,169千円				9,435千円				3,266千円		65.3 %		8,574千円	
目 的		漁港施設の調査・機能診断を踏まえた機能保全計画を策定し、同計画に基づいた保全工事を実施することで、施設の長寿命化と維持更新コストの縮減を図る。											
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要		浅茂川漁港の漂砂シミュレーション解析と水域施設における堆砂対策工の検討を行い、機能保全計画を策定した。また、平成24年度に策定した機能保全計画に基づき、間人漁港赤岩防波堤の老朽化対策工事を実施した。											
		○委託料										1,974千円	
		・浅茂川漁港機能保全計画書（水域施設）策定業務 漂砂埋没機構の解明・対策工検討（1式）											
		○工事請負費										4,195千円	
		・間人漁港赤岩防波堤機能保全工事 水中コンクリート（29㎡） 場所打ちコンクリート（9㎡）											
		参考		繰越明許費を除いた最終予算額						6,169千円			
				実質的な執行率						100.0%			
		■平成29年度への繰越事業											
		・浜詰漁港（夕日泊地）航路浚渫工事 平成29年10月完成予定										3,266千円	
		◆水産基盤整備ストックマネジメント事業の概要											
		<事業趣旨>											
		老朽化により更新を必要とする施設の増加に伴い、管理を体系的に捉えた計画的な取組により、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を推進する。											
		<事業内容>											
		・施設の老朽化診断と「機能保全計画」の策定											
		・機能保全計画に基づく老朽化対策工事の実施											
主 な 財 源		分担金		水産基盤ストックマシ ント事業分担金（5%）								70千円	
		府補		水産基盤ストックマシ ント事業補助金（2/3）								4,112千円	
		市債		水産基盤ストックマシ ント事業債								1,300千円	
成 果 ・ 課 題		○航路埋没調査の実施により、漁業活動の支障となっている水域施設の埋没機構を解明するとともに、最適な対策工の検討を行い、今後の計画的かつ効率的な維持浚渫の実施に向けた対策を決定することができた。											
		○保全計画に基づく工事の計画的な実施により、漁港施設の長寿命化を図った。											
		○港勢要件により本事業の対象外となる漁港について、今後の維持管理・老朽化対策が課題となっている。											
事 業 所 管 課				農林水産部／海業水産課									

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	03水産基盤ストックマシ ント事業
細 事 業 名	01 水産基盤ストックマシ ント事業（繰越）			決算書 P.242
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
	（旧計画項目）	3 つくり育てる漁業・海業の振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率（参考）当初予算額
3,426千円		3,426千円	0千円	100.0 % 3,426千円
目 的	漁港施設の調査・機能診断を踏まえた機能保全計画を策定し、同計画に基づいた保全工事を実施することで、施設の長寿命化と維持更新コストの縮減を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	浅茂川漁港の漂砂シミュレーション解析と水域施設における堆砂対策工の検討を行い、機能保全計画を策定した。			
	○委託料 ・ 浅茂川漁港機能保全計画書（水域施設）策定業務 漂砂埋没機構の解明・対策工検討（1式）			3,426千円
主 な 財 源	◆水産基盤整備ストックマネジメント事業の概要 ＜事業趣旨＞ 老朽化により更新を必要とする施設の増加に伴い、管理を体系的に捉えた計画的な取組により、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を推進する。 ＜事業内容＞ ・ 施設の老朽化診断と「機能保全計画」の策定 ・ 機能保全計画に基づく老朽化対策工事の実施			
	府補	水産基盤ストックマシ ント事業補助金（2/3）2,284千円		
成 果 ・ 課 題	航路埋没調査の実施により、漁業活動の支障となっている水域施設の埋没機構を解明するとともに、最適な対策工の検討を行い、今後の計画的かつ効率的な維持浚渫の実施に向けた対策を決定することができた。			
事 業 所 管 課		農林水産部／海業水産課		